

<2022年度>

# 第6回理事会議案書

2022年 9月 29日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2022年度 第6回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 802号室

日 時： 2022年9月29日(木)  
11:30~14:30

## 1. 開会の辞

## 2. 定足数確認報告(定款第36条)

## 3. 会長挨拶

## 4. 前回理事会議事録の確認

## 5. 報告事項

- (1) 賛助会員との懇談会 実施内容について ----- [理 22-6-報 1] (p2-)
- (2) 意見交換(陳情)活動実施報告 ----- [理 22-6-報 2] (p8-)
- (3) 技術テーマに関するWG設置について----- [理 22-6-報 3] (p11-)
- (4) 特定技能外国人材受入に関する要望について ----- [理 22-6-報 4] (p14)
- (5) 委員会等活動状況報告 ----- [理 22-6-報 5] (p15-)
  - ① 中期ビジョン検討委員会(足元取組み課題検討)
  - ② 人材育成委員会(WGメンバー選定)
  - ③ 創立50周年記念事業準備委員会
  - ④ 運営委員会(業績調査速報報告含む)
  - ⑤ 技術委員会
- (6) 生命共済事業所加入率向上施策について ----- [理 22-6-報 6] (p26)
- (7) 就業規則の見直しについて ----- [理 22-6-報 7] (p27-)
- (8) 反転スカラップの勉強会への対応について ----- [理 22-6-報 8] (p29-)
- (9) 認定工場の追加情報の登録状況 ----- [理 22-6-報 9] (p31-)
- (10) その他
  - ・青年部代表者との意見交換会----- [理 22-6-報 10] (p34-)
  - ・ウエルディングショー出展結果総括 ----- [理 22-6-報 11] (p36)
  - ・2023年賀詞交換会の開催方法について ----- [理 22-6-報 12] (p37)

## 6. その他の定例報告事項

- (1) 構成員登録状況 ----- [理 22-6-他 1] (p39-)
- (2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 22-6-他 2] (p44)
- (3) 主要会議日程(今後の会議等の開催について) ----- [理 22-6-他 3] (p45)
- (4) 支部報告 ----- [理 22-6-他 4] (p46-)
- (5) その他

## 7. 閉会の辞

以上

## 賛助会員企業・団体との懇談会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会  
場所:鉄鋼会館 801号室  
日時:2022年9月29日(木)  
15:00~17:00

1. 全構協 永井会長挨拶
2. 出席者ご紹介(出席者名簿)
3. 懇談会
  - (1) 全構協の概況、ファブ業界の状況
    - ① 足元のファブ業界の動向(今後の見通し)
    - ② 全構協の概況
      - ・構成員状況、事業内容(概況)
      - ・重点テーマに関する活動状況
    - ③ 各地区の概況
      - ・各地区の状況、各地区の活動
  - (2) 賛助会員各企業様からのご意見、ご質問について
  - (3) 賛助会員(各分野)の皆様への要望事項
4. 閉会

以上

## 賛助会員との懇談会

## 出席者名簿（賛助会員）

&lt; \*社名五十音順 &gt;

会 社 名	氏 名 (敬称略)	懇談会	備 考
賛助会員 株式会社アマダマシナリー	朝 倉 康 友	出	
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	林 秀 紀	出	
岩上鋼材株式会社	唐 川 吾 郎	出	
エムエム建材株式会社	吉 田 俊 行	出	
王子製鉄株式会社	-	欠	
小野建株式会社	小 野 将		
株式会社神戸製鋼所	河 村 大 介	出	
J F E 建材株式会社	武 内 知 洋	出	
J F E 商事鉄鋼建材株式会社	川 原 信 一	出	
J F E スチール株式会社	石 倉 加 寿 夫	出	
神鋼ボルト株式会社	坂 本 博 文	出	
新東工業株式会社	石 川 光 男	出	
株式会社スノウチ	-	欠	
住友生命保険相互会社	高 本 達 実	出	
株式会社セイケイ	山 口 隆 二	出	
第一生命保険株式会社	河 野 重 男	出	
大東精機株式会社	杉 本 拓 巳	出	
大同生命保険株式会社	-	欠	
ダイニッカ株式会社	岡 部 祥 司	出	
大日本塗料株式会社	眞 鍋 育 功	出	
一般社団法人鉄骨建設業協会	-	欠	
株式会社トーネジ	古 藤 和 生	出	
日鉄エンジニアリング株式会社	鹿 山 嘉 男	出	
日鉄建材株式会社	薦 谷 雄 幸	出	
日鉄物産株式会社	鶴 田 貴 也	出	
日鉄ボルテン株式会社	高 橋 達 也	出	
一般社団法人日本鋼構造協会	-	欠	
日本製鉄株式会社	白 井 輝 幸	出	
日本ファスナー工業株式会社	小 田 吾 郎	出	
一般財団法人日本溶接技術センター	阿 南 睦 章	出	
一般社団法人日本溶接協会	水 沼 涉	出	
一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会	-	欠	
阪和興業株式会社	滝 田 憲	出	
フルサト工業株式会社	有 本 剛 士	出	
株式会社丸杉	-	欠	
	出 席	28	

# 賛助会員からの意見・要望一覧表

意見・要望・提言	
No.	企業名
	<p>① 貴業界の状況・動向、サービス提供・受給上の課題 ※全構協(ファブ業界)への情報提供</p> <p>② 全構協との連携の在り方について ※全構協へのお願い、要望等</p>
1	阪和興業株式会社
2	日鉄エンジニアリング株式会社
3	大同生命保険株式会社
	日鉄ポルテン株式会社
4	
5	ダイニッカ株式会社
	一般社団法人日本溶接協会
6	
7	伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社
	一般財団法人日本溶接技術センター
9	日鉄物産株式会社

# 賛助会員からの意見・要望一覧表

意見・要望・提言	
No.	企業名
	<p>① 貴業界の状況・動向、サービス提供・受給上の課題 ※全構協(フアブ業界)への情報提供</p> <p>② 全構協との連携の在り方について ※全構協へのお願い、要望等</p>
10	第一生命保険株式会社
11	王子製鉄株式会社 エムエム建材(株)
12	
13	岩上鋼材株式会社
14	株式会社 セイケイ
15	一般社団法人鉄骨建設業協会 神鋼ポルト株式会社
16	
17	JFE建材株式会社
18	株式会社神戸製鋼所
	<p>【業界の状況・動向】 ・団体保険、個人保険の保障内容差別化は厳しく、付帯するサービス等充実させている。 (健康経営、健康増進割引、健診結果による割引等) 【商品・サービス提供上の課題】 ・生命保険は基本的には対面営業であったが、WEB募集ツール活用による営業スタイルの変革 ・各企業においてテレワークが推進され、職域営業が厳しい状況(面談率悪化、出入規制等々) ・コロナ陽性者数増加に伴う医療保険給付金支払が増大している。 (ホテル療養、自宅療養も通常の入院とみなしている)</p> <p>・鋼材価格の上昇と一部鋼材入手難(HY、コラム、BHなど)による納期遅延が発生。 ・急激な繁忙による切板納期の長期化。 ・鋼材価格上昇分について鉄骨販売単価への転嫁が進まない ⇒予算が無いとの理由でゼネコンがなかなか認めてくれない ・鋼材価格高騰とゼネコンの厳しい指値により加工費が圧迫</p> <p>今年度足下は首都圏大型案件の出件は堅調に推移しているが、鋼材価格の上昇および副資材・物流費も同様の傾向にあるため中小案件の動きがやや鈍化している印象。高力ポルトの供給は昨年のタイトな状況から見ると落ち着いてきた感あり。</p> <p>・素材(鋼材)の高騰に伴う価格転嫁の遅れにより損益的に厳しい状況が継続している。 ・足下の需給動向は中小物件の需要減により秋需期待が非常に薄い状況となっている</p> <p>鉄鋼業界は、足元、特に自動車メーカーの減産影響や海外メーカーの低迷により鋼湯は余剰状態にあるものの、国内の厚板需要としては、造船、建築、建機などの業界は依然として堅調であり、しばらくはタイトな状態が継続すると考えています。そのよな中ではありますが、弊社は2023年10月下旬から約3か月間、厚板工場(仕上げ圧延機)の(老朽化による)更新工事を実施致します。そのため一時的に厚板の供給ができなくなり、弊社の厚板をご使用いただいていたお客様には多大なご迷惑をお掛け致しますが、更新後はこれまで以上に、より良い性能・品質にてお客様のニーズにお応えできると考えておりますので、引き続きご愛顧賜ります様よろしくお願い申し上げます。</p>
	<p>・「万一の保障」のみならず「資産形成・承継」「健康・医療」「つながり、絆」を通じてお客さまのQOL向上への貢献 ・具体的には介護セミナー、資産形成セミナー(個人型DC等)、健康セミナー等々実施の機会の提供(対面・非対面)</p> <p>・再開発の本格始動もあり来年度以降の繁忙が予想され、加工能力不足が早込まれるが どのようにおかんがえでしょうか？(人員補充して加工能力を増強するかなど) ・ロール品についてご発注納期通りのお引き取りをお願いしたい。</p> <p>高力ポルト業界の6-3-1ルールを全構協はじめ業界内各位でご理解いただいたらいい足下の環境を今後も継続して浸透を図るべく更なる協力をお願いしたい。</p> <p>素材(鋼材)価格が急変した際の既契約物件価格見直し・再見積が認められるよう鉄鋼業界全体で国交省・ゼネコンなどへの働きかけをお願いしたい</p> <p>鉄骨需要はS造100kg/m、SRC造50kg/mで推定されていますが、実態の鉄骨数量とは乖離していると考えています。実態がどうなっているのか、その分析や今後の傾向などについて、実績整理含め対応頂くことが可能か検討頂きたいと考えております。</p>

# 賛助会員からの意見・要望一覧表

		意見・要望・提言	
No.	企業名	①貴業界の状況・動向、サービス提供・受給上の課題 ※全構協(フアブ業界)への情報提供	②全構協との連携の在り方について ※全構協へのお願い、要望等
19	フルサト工業株式会社	物流倉庫や半導体工場等の物件増加により、建築用ターバンバックル(丸鋼ブレース)の太径サイズの受注が特に増加しています。ターバンバックル枠の供給メーカーも限られることから、大口の物件、とりわけ太径サイズ(M24~M33)について、お早めの情報提供をお願いします。	特に御座いません。
20	新東工業株式会社	インフラ整備において都市開発や大型倉庫の建設が予定されており、使われる「鉄骨」の必要量が増大すると、業界情報から「鉄骨・プレート等」の表面処理用装置の需要が増大している。	従来通り、業界の定期的な情報交換の場を設けて頂きますとありがたいです。
21	JFE商事鉄鋼建材㈱	高鉄鋼の分野についてGCCの受注競争の影響を受けている面と材料高騰のありを受けけている面がある。材料納期が1年近く先になる物件についての見積りが今後どうなっていくのか？材料単価が落ち着いた時にどのように浸透していくか注視している。	全構協フアブに関わる現状や問題点を業界団体としての発言力を施すやGCCに伝えて頂きたい。 また、その内容を加盟している会社各社に展開して共有して欲しいです。
22	JFEスチール株式会社	パンデミックからの経済回復は継続し、鋼材需要は徐々に回復する見通しであるが、一方で、インフレ・金利上昇による経済減速、エネルギー高騰が懸念事項として挙げられる。	大型案件は堅調を維持しており、一部品種においてタイムナ状況が継続する中、会員各社様と前広に会話をさせていただきながら、安定供給に努めさせていただきます。
23	日本製鉄株式会社	・年初来ロシア・ウクライナ紛争、中国ゼロコロナ対策の影響等により取り巻く環境は大きく変化しており、今後の需要動向、コスト動向等は一層見通しが難しい局面に移行している。 ・その様な中で国内建築に関するマクロ需要は、昨年度と同レベルと想定しており、活況ではないものの堅調に推移しており、今後の首都圏大型再開発案件が動き始めるとタイム感が増す可能性あり。 ・また、弊社を含め構造対策によるミル休止や、長期間の工事が予定されていることもあり、需要ピーク時および製造負荷の高い鋼材の対応が今後課題となる懸念あり。 ・カーボンニュートラルに向けた大きな動きの中で、長期的なトレンドで見るとスクラップ(電炉の増強等)、原料炭(カーボンニュートラルに向けた投資抑制)の需給は一層タイト且つ価格も高位推移するものと想定され、かかるコストをサブプライチエーション全体で負担する仕組みへ変えていくことを建設業界全体として考えていくことが必要。	・日建連様をはじめ建設業界全体が従来の契約の在り方を見直す動きが出る中で、全構協の会員各社様が携わる案件において契約の在り方を見直す動き(スライド案項等)が始めているのかを教えてください。 ・また、これらの動きを促進するために全構協様として活動されていること及び、今後予定されていること等あれば教えてください。
24	大日本塗料(株)	・2021年の生産量は2019年(コロナ前)比で93%の状況、前年比では103%で回復傾向である。 ・国内では特に自動車分野で影響を受けており、一般分野(建築、構造物)は回復基調である。 ・直近の課題は次の通りです。 ①世界的なインフレ、ウクライナ情勢に伴うエネルギー資源価格の高騰による原材料、物流コストの大幅上昇 ②EV化に代表される産業構造の変化による塗料原料からDX、EV関連への用途変化による需給バランスの悪化	上記理由による度重なる価格改定をさせて頂き申し訳ございません。今後も製品の品質を前提とした安定供給を第一に考え、取り組んでいきますので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。 また、「環境」「安全」「健康」に関する対策で塗料の水溶性化、省工程化等で新たな塗料の開発でお力をお借りできれば大変ありがたいです。 弊社では、防食技術センターや大型の構造物を環境の温度、湿度に設定できる設備を導入しており、これらの設備も是非、ご活用頂ければ幸いです。

# 賛助会員からの意見・要望一覧表

		意見・要望・提言	
No.	企業名	① 貴業界の状況・動向、サービス提供・受給上の課題 ※全構協(ファブ業界)への情報提供	② 全構協との連携の在り方について ※全構協へのお願い、要望等
25	住友生命保険相互会社	<p>・コロナ禍において、対面販売が難しくなりFacetoFaceでお客様に寄り添うことが難しくなっておりますが、Zoom等を活用したお客様との接点作りにおきましては、コロナ禍で急速に発達しております。</p> <p>・また、職員のレベルアップを図る教育・研修等については、Zoom等を活用したリモートが進み、効率的な取組が一気に進んでおります。</p> <p>・全構協の会員事務所様への共済制度のご案内については、アホ取りして訪問するといったコロナ禍の営業スタイルを引き続き進めております。</p> <p>・当社の個人保険分野では、Vitalityという健康増進保障の推進をメインとしてお客様に健康になっていただく取組を強化しており、企業様の健康経営にもお役立っていただいております。</p>	<p>・当社の強みである全構協の事業所様を定期的に訪問し、繰り返し推進し経済制度のご案内・アフターサービスができるエリアを更に拡大し推進してまいりますので、引き続きのご支援よろしくお願いたします。</p>
26	日鉄建材(株)	<p>現在のプレスクラムの旺盛な需要は今後、70年代からの老朽更新需要の本格化且つ物件の集約・大型化、新社会ニーズ(先進的大型物流施設・データセンター・半導体工場等)に加え、万博・IR、新幹線延伸・リニア関連需要、など中長期的に高原状態が続くと予測する一方、業界供給能力が現状見合わず、供給能力の増強が課題。 当社もかかる課題に取り組んでいく所存。</p>	<p>今後の旺盛建設需要に向け大きな課題は、人手不足と資機材価格・調達と考える。施主・ゼネコンは元より国を巻きこんでの抜本的課題解決に向けて連携をお願いしたい。(特に人手不足 ex.外国人雇用に関する施策)</p>
27	大東精機 株式会社	<p>産業機械の納期が遅延気味になっております。 機械製作の電子部品や制御機器類の納期遅延により、機械製作遅れや修理部品供給遅れが徐々に出てきております。各メーカーで在庫先行発注や代替品の選択を随時していますが、対応がきびしくなっております。(植村)</p>	<p>弊社は、バンドソーブレードは狭み込みに強い品種を開発販売しており、非常に高い評価を受けています。全構協さまでの採用検討を是非お願いします。(植村)</p>
28	株式会社アマダマシンナリー	<p>・新商品ご紹介: マシンHK1000W、全構協ご推奨ブレードPROTECTOR II ・マシン・ブレードの供給状況</p>	<p>全構協支部様 構成員様の現状、今後の見通し ・鉄の動向(鉄価格高騰・供給状況)など ・ブレード毎の受注状況 など</p>



## 2022年度 意見交換 活動について

業界の状況・実態について、設計会社・ゼネコン・高炉メーカー 各社にご理解、ご協力をいただくべく、鉄建協主催で意見交換会を実施。内容は下記の通り。

記

### 1. 実施日程（関東地区）

・2022年7月22日（金）～8月5日（金）

### 2. 意見交換先

[設計事務所] 日本設計、三菱地所設計、日建設計、久米設計、  
NTT ファシリテーター

[他団体] 日本建築構造技術者協会（JSCA）

[ゼネコン] 大林組、大成建設、竹中工務店、清水建設、鹿島建設、  
戸田建設、前田建設、東急建設、西松建設

[高炉メーカー] 日本製鉄、JFE スチール、神戸製鋼所

### 3. 意見交換内容（ゼネコン向け）

- 1) 鋼材価格指標に基づく精算
- 2) 鉄骨製作工程表の合意確認及び押印の確実な履行
- 3) 働き方改革への適切な対応
- 4) その他諸問題への対応  
(図面の適正な工程管理、追加変更工事への適切な対応、  
製品出荷準備期間の確保、他)

以上

## 2022（令和4）年度 陳情状況報告 （要望事項に関する主な意見）

### 1. 設計事務所、団体（JSCA）

#### 1) 図面の早期決定、期限厳守

- ・早期決定の為にゼネコンに対して段階承認や主管図承認等を求めているかどうか。
- ・図面の期限を遵守する意識が全体的に低い。
- ・ファブの残業で工程遅れをカバー出来ても、今後は働き方改革の影響で難しくなる。
- ・加工期間の確保、付帯の早期決定、手戻りの削減等の課題に個別に取り組まないと改善されない。

#### 2) ミルシートの記載省略等合理的な鋼材管理

- ・トレーサビリティが確保されるなら良いと思う。
- ・民間物件は既に運用しており問題ないが、公共物件では理解を得にくい。
- ・所有権が不明確ではないか。

#### 3) BIMへの対応

- ・設計事務所では活用が進まず、ゼネコンでも活用度合いに差がある。
- ・国交省が標準化を検討する動きもあり、今後活用が進むと思われる。
- ・精度向上、ソフト互換、データ共有、業務効率化等が課題である。

#### 4) その他

- ・毎年同じ要望内容である。もう少し実のある話にしたい。

### 2. ゼネコン

#### 1) 鋼材価格指標に基づく精算

- ・エビデンスをしっかりと提案して協議してほしい。
- ・業界団体が独自に鋼材価格情報を整理し共有化出来ないか。
- ・ファブ・ゼネコン・施主相互間の商習慣を変えるというレベルの話であり、各々が理解を得られるように少しずつ進めて行くしかない。

#### 2) 鉄骨製作工程表の合意確認及び押印の確実な履行

- ・全く押印していないという認識はない。押印でなくても打合せ合意確認のサインを残し認識を共有している。
- ・押印履行の重要性を認識しているが設計事務所にも理解頂く必要がある。

### 3) 働き方改革

- ・ 推進が難しい状況を認識しており、対応に苦慮している。

### 4) 重層下請けへの理解（一部ゼネコンのみ）

- ・ 要望は理解しているが、自社の方針で、原則二次化でお願いしたい。

### 5) その他諸問題への対応

#### （図面の遅れ）

- ・ 設計事務所の遅れに起因する場合もあり、設計事務所への改善要望が必要ではないか。

#### （現場関連の課題）

- ・ 現場搬入等の調整に苦慮している。待機場所等独自対応する GC もある。

#### （後施行の精算）

- ・ 一度精算した後に契約し直すことを考える必要がある。材料と加工を分ける等、契約を個別に考えてはどうか。

## 3. 高炉メーカー

### 1) 鋼材の安定供給と納期について

- ・ 現状は関係先に無理をお願いする状態であるが、その状態を変えるいい機会である。次善策として色々なスキームを検討してはどうかと思う。
- ・ 量から質へと方針を転換し安定供給は続けるが、価格の安定化に向けても引き続き努力したい。

### 2) 鋼材価格指標に基づく精算について

- ・ 資材高騰を受けて日建連が経団連に民間契約のあり方の見直しの要望をしたことや、国交省が民間工事では物価スライドルールがないことの問題意識を持っていることが確認されたこと等、今後の推進に向けた動きがある。

以上

## 【理 22-6-3】技術テーマに関するWG設置の件 ①技術者資格関連

### 鉄骨製作管理技術者の資格について

#### 1. 背景

一般社団法人鉄骨技術者教育センターが資格登録を行っている「鉄骨製作管理技術者」の資格は一時期、大臣認定の国家資格として扱われていたが、現在は民間資格となっている。

1983年 全構連にて「鉄構管理技術者」の資格開始

1991年 鉄建協・全構協が登録する「鉄骨製作管理技術者」大臣認定の国家資格となる。

2001年 法改正により「鉄骨製作管理技術者」は民間資格として登録機構が資格登録

2019年 「鉄骨（製品・超音波）検査技術者」と共に鉄骨技術者教育センターに登録を移管  
鉄骨製作工場の大員認定における必須の技術者資格であり、一般の民間資格より上位の位置づけであってほしいところである。

しかし、他業界から認められる為には自らにこれまで以上の資格要件を課すことになる可能性もあり、業界内外の理解を得るために多大な労力を要することが考えられる。

#### 2. 目的

「鉄骨製作管理技術者」の資格を他業界からも認められる資格とし、社会的価値を向上させる。

#### 3. 活動内容

##### ① 「鉄骨製作管理技術者」の資格の社会的価値向上の要否検討

資格としての価値を現状より上げることの要否。どのような価値向上が良いかの検討  
資格を保有することで享受できるメリットの検討

##### ② 資格としての価値向上の方法検討

国家資格に準ずる資格として位置付ける方法。建設業法、製造業品質管理法、能力開発促進法など根拠となる法律の要否を含め方法を検討する。

例1：一般建設業の許可業種と該当する国家資格等の一覧表に加えてもらうことにより、建設業の鉄骨製作業種として必要な資格と認知されるようにする。

例2：鉄骨製作の製造管理責任者、品質管理責任者等の必要資格として位置付ける。

当初は全構協の内部活動とし、業界全体へ広めていく。

<鉄骨製作工場の管理体制>

<必要資格>

統括製造管理責任者（工場全体）

：鉄骨製作管理技術者1級

製造管理責任者（ライン、プロジェクト別）

：鉄骨製作管理技術者1級

品質管理責任者

：鉄骨製作管理技術者2級以上

原料・資材管理責任者

：鉄骨製作管理技術者2級以上

組立管理責任者

：鉄骨製作管理技術者2級以上

溶接管理責任者

：溶接管理技術者（WES）

検査管理責任者

：鉄骨製作管理技術者2級以上

寸法・精度管理責任者  
非破壊検査管理責任者

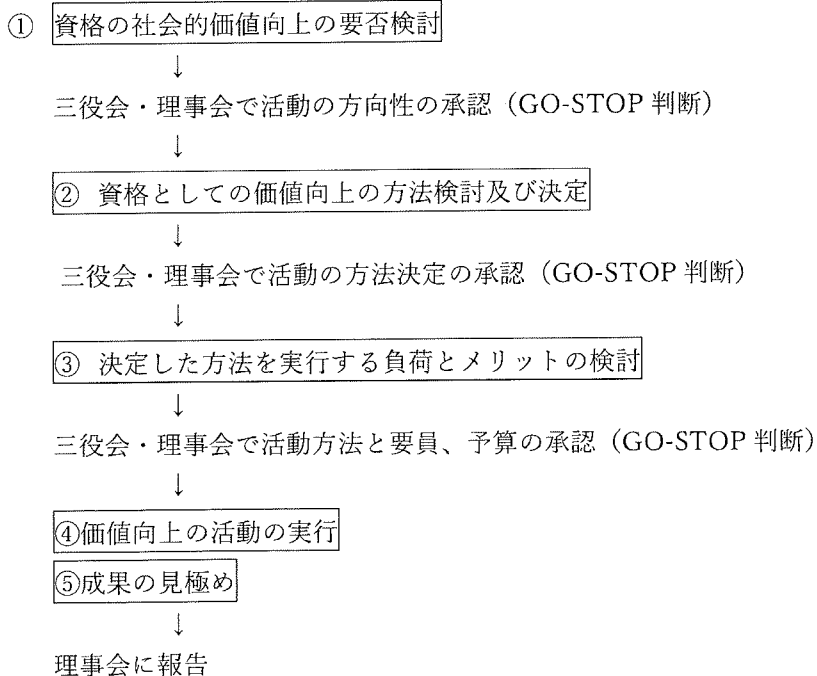
: 製品検査技術者  
: 超音波検査技術者

- ③ 価値向上の方法決定と実行する負荷とメリットの検討  
決定した方法を実現するために必要な事項の洗い出し、負荷の想定と獲得できる価値とのバランスによる実行の可否判断
- ④ 価値向上の活動の実行  
国交省など関係各所への働きかけ、全構協内部の理解、他業界への情報発信など
- ⑤ 成果の見極め  
達成できた内容の確認

#### 4. 検討WGメンバー

活動①～②：理事会選出委員と資格関係に精通した外部アドバイザー  
活動③～⑤：理事会選出委員と組織創設活動に知見のあるアドバイザー

#### 5. 活動の進め方



#### 6. 検討期間

活動①～②：2022年度～2023年度  
活動③～⑤：2024年度～

以 上

## 【理 22-6-3】技術テーマに関するWG設置の件 ②技能者資格関連

### (仮称) 建築鉄骨技能士の検討 WG について

#### 1. 目的

鉄骨製造業における独自の技術・技能を明確にし、その技術・スキルの向上を図ることで業界としての技術力を対外的にもアピールできるようにする。その結果として外国人受け入れの特定技能の資格要件としても使える資格制度を造ることも視野に入れる。

#### 2. 活動内容

- ① 鉄骨製造業における独自の技術・技能の検討  
建築鉄骨の組立における裏当て金やエンドタブの利用等、特異性のある技術・技能を検討
- ② 技術・技能の見える化（技術の基本やルールの明確化）  
潜在的技能としてあったものを顕在化し、初心者にも説明できるようにする。歪予測、矯正等高度な技術については、基本事項を整理し熟練度を挙げる指標とする。
- ③ 育成用教本、評価基準の作成  
基本的な技術・技能について明文化し、初心者への教育用資料を作成する。高度な技術については評価基準を設ける。
- ④ 技能競技会の開催や試験課題の検討
- ⑤ 技能試験の実施及び資格の確立の可否検討
- ⑥ 資格の第三者性の確立と行政への認知活動
- ⑦ 資格試験方法の確立と特定技能外国人受け入れ業種指定への活動
- ⑧ 国家資格への可否検討

#### 3. 検討 WG メンバー

- 活動①～③：委員会委員と鉄骨組立に精通した技術アドバイザー  
活動④～⑧：委員会委員と組織創設活動に知見のあるアドバイザー

#### 4. 検討期間

- 活動①～③：2022 年度～2023 年度  
活動④～⑧：2024 年度～

以 上

# 【理22-6-報4】特定技能外国人材受入に関する要望について

全九支発第2022-17号

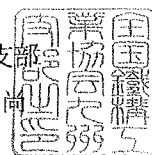
令和4年9月8日

一般社団法人全国鐵構工業協会

会長 永井 毅 様

全国鐵構工業協会九州支部

支部長 岩永 洋 様



## 「特定技能1号」についての要望書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、建設現場で働く若手が減り続け、人手不足が深刻化しています。そこで、2018年に入国管理・難民認定法が改正され「特定技能」が創設されました。受入対象職種となれば、技能実習2号等終了後も、引き続き通算5年間、企業の戦力として働いてもらうことができます。また、帰国している技能実習修了者も再度呼び寄せ、直接雇用することも可能です。

しかし、受入対象職種に当業界は含まれておりません。

少子高齢化が進む日本において、人手不足解消のためには必要不可欠な制度ですので、ぜひ「特定技能1号」の受入対象職種に鉄骨（製作・工事）を登録していただくよう所轄行政機関（経産省、国交省）に対し制度づくりに向けて全構協より交渉していただきたく要望いたします。

敬具

## 【理 22-6-5】委員会活動状況報告 ①中期ビジョン検討

〈 2022年度 〉

### 第 1 回 中期ビジョン検討委員会

1. 日 時 2022年8月8日(月) 14:00～16:00
2. 場 所 全構協 第一会議室
3. 出席者 永井会長  
大島委員長(副会長)  
佐藤委員(理事;北海道支部長)、三浦委員(理事;東北支部長)、  
登尾委員(理事;四国支部長)、岩永委員(理事;九州支部長)  
Web参加:出雲委員(理事;近畿支部長)  
(事務局)小貫、平井、新村

#### 4. 議事内容

- 1) 会長挨拶、委嘱状授与
- 2) 委員長挨拶
- 3) 運営方法について
  - ・長期・中期に拘らず、業界の将来あるべき姿を検討
  - ・なるべく理事会開催に合わせて委員会開催
  - ・2023年度末の2024年3月までに成果としてまとめる
- 4) 今後の進め方
  - ・2019年度末にビジョン委員会で纏められたテーマ及び2020年度のIoT等システム環境整備検討委員会で纏められたテーマの内から現時点で優先順位が高いと思われるものを抽出し、具体的検討テーマの候補とする
  - ・鉄骨業界の将来像としてどのような業態を求めるかを議論する方法と個別課題の抽出から初めて全体を纏める方法がある。どちらを進めるかを今後決めていく。
- 5) その他
  - ・次回開催は9月30日(金)午前中

#### 5. 配布資料

- 1) SDG'sの17の目標と196のターゲット・・・・・・・・・・No.1
- 2) 企画委員会まとめ資料(20200301)・・・・・・・・・・No.2
- 3) IoT等システム環境整備検討委員会まとめ資料(20201119)・・・・・・・・No.3

以 上



中期ビジョン検討委員が選んだ検討すべきテーマ一覧

(ビジョン委員会、企画委員会(2016～2019)、IoT等システム環境整備検討委員会にて抽出された検討項目より)

項目	検討すべきテーマ	選定理由
技術	1 CAD担当者が抱える問題解決 (リモートワークの実施)	・リモートワークができる環境を示すことで、人材確保、働き方改革、女性活躍を促進させるため ・人材確保及び育成の為
	2 鉄骨製作管理技術者の再法制化	・国土交通省認定の工場に国家資格が無いのはおかしい ・全構協以外にこれに取り組む団体が無い ・研修生制度や雇用難等を見直し、足元の課題もそうだが未来への礎を(中期ビジョンという意味合いを加味して) ・管理技術者、検査技術者両方の資格価値向上が必要
	3 メーカー等とタイアップした技術開発	①溶接機械や溶接ワイヤーのメーカーとタイアップして、二酸化炭素や溶接ヒュームの低減を目指す。 ②隅肉溶接の脚長を低減して、溶接量を減らす。 (二酸化炭素の低減) SDGs ③開先角度を更に研究して、溶接量を減らす。 併せて機械メーカーと協力して、開先加工の安価提供 (二酸化炭素の低減) SDGs ・標準化や部材集約等による生産性を向上させる仕組みが必要 ・生産性向上が収益、人材確保、育成、働き甲斐にもつながる。
	4 外国人向けの教材の発行	①技能実習生向けの日本の商習慣のレクチャー本 ②工場内での一般的に使われる言葉や機械等の通訳本の作成 ※図解で分かりやすくする 例) 裏板→わかりやすく図解で示す(英語名も表記) ③設計図・施工図の表記の通訳本 例) 溶接基準図の記号等わかりやすく図解で示す(英語名も表記)
経営	5 人材確保・育成	・後継者、技術者、技能者のレベルアップが必要 ・他業界からも認められる業界となる必要あり ・BCPの面からも必須
業界	6 「業界の地位向上」に関する認知度アップ活動	・脱炭素・SDGsなど業界としての取組表明が必要だから
	7 S造化推進	①RC造や木造よりS造がどれだけSDGsの17項目に当てはまっているかアピールする。 ②今後、鉄骨増がいろいろな分野・項目で変化する事により、SDGsに寄与できるか、SDGsを進めていく上で、必要なのかアピールする。 ③上記によりS造化を目指し、業界を発展させる。
	8 生産額の把握	・生産額でとらえた方が外部への本業界の説明がしやすい。
	9 働き方改革に関して	・週休2日制、若年者雇用、女性雇用等の環境整備の検討が必要。
	10 「鉄骨工事業」の業種独立	・当業界の将来の為
収益	11 共同購買事業の拡大	・防護係数33の保護マスク共同購買
IoT	12 材料の在庫管理	・鋼材が高価・多様化となり在庫材(端材含め)管理がより必要になるから
	13 バーコード・QRコードによる製品管理	・1社で開発するには費用負担が大き過ぎ、費用対効果が薄くなってしまふ。共同開発することで費用対効果は見込め、特殊な技術ではないので水平展開しやすい。出荷管理は間違うと大きな費用負担になるので、IoTを活用し不要な経費を抑えることができる。
	14 社内検査表の自動作成及び検査表統一様式作成	・事務処理作業の効率化の為
その他	15 SDGsに関して	・中長期的にとらえ大小企業に関わらず取り組まねばならない課題
	16 床上操作式クレーン運転士資格の操作基準	安心・安全に作業を推進する為
	17 工場認定に必要な資格試験スケジュール表作成	資格の更新・取得を支援する為

## 工作図作成の効率化検討 WG について

### 1. 背景

図面作成の CAD オペレータは全国的に不足しており、設計事務所、施工者だけでなく、Fab の工作図作成のオペレータの業務改善が望まれている。当協会として工程管理表などを準備し、手戻りを無くす様に働きかけてきた。しかし、設計事務所の設計図データを施工者を通じて受領しても活用する為には共有化の為のデータ変換が必要であり、CAD ソフトごとでの対応も異なっているのが現状である。

今後の工作図作成の効率化を図るためには、設計図からのデータ共有が必須であり、工作図 CAD ソフトの違いによるデータ形式の状況やインターフェースとなる変換ソフトの有無を調査しておく必要がある。

### 2. 目的

設計図のデータを工作図作成に活用できるようにするため、種々の工作図 CAD ソフトのデータ形式に変換できる共有のインターフェース機能を構築できるかを検討し、工作図作成の効率化を図る。

### 3. 活動内容

- ① 工作図 CAD ソフトの現状調査  
各 Fab で使用している CAD ソフトの統計調査と各 CAD ソフトのデータ形式の確認
- ② 設計図データの共通化の可能性検討と工作図 CAD データへの変換方法の検討  
2D、3D データの統一と工作図 CAD に応じた変換

### 4. 今後の進め方（素案：検討メンバーを含む）

技術委員会へ現状調査を依頼

以 上

## 【理22-6-5】委員会活動状況報告 ②人材育成委員会

### 【議事録】人材育成委員会(第1回)

#### 1. 日時・場所・出席者

2022年8月8日(月) 14:55～16:55 (於：鉄鋼会館 803会議室)

- 出席者 ・ 永井会長  
(9名) ・ 大竹委員長(副会長)  
・ 秋山委員(理事：関東支部長)、寺田委員(理事：北陸支部長)、  
柏原委員(理事：中部支部長)、妹尾委員(理事：中国支部長)  
・ (事務局) 小貫専務理事、平井総務部長(事務局長)、大原(文責)

#### 2. 会議目的

- (1) 永井会長挨拶、委嘱状授与、委員長挨拶
- (2) 当委員会の発足経緯・位置付けと、教育センター所管研修との関連性 (小貫専務)
- (3) 当委員会で所管する研修について (全体討議)
  - 1) 過去の教育内容の紹介 (研修、教材)
  - 2) 教育内容の検討方法(検討手法)と教育対象者
  - 3) 委員会を進めて行くプロセス(おおまかなスケジュール感)
- (4) 各WGメンバーの候補者選定

#### 3. 挨拶

##### (1) 永井会長

コロナ感染拡大、暑い中での参集に感謝。新体制でも米森前会長の意思を引継ぎ人材育成を重視。良い人材育成ができるよう、2年間の任期でよろしく願いたい。

##### (2) 大竹委員長

暑い中での実出席に感謝。永井会長から(委員長への)推薦を頂いた。自社でも人材育成に取り組んでいる中、業界としても人材育成が重要であると認識。各委員の協力をお願いしたい。

#### 4. 申し合わせ事項等

- (1) 執行部了解を得たうえで、以下WGを発足させ、また、教育センター所管研修に参画する。
  - 1) 次世代経営者研修WG(仮称) ※フォローアップ研修の併せての実施も検討  
リーダー 寺田委員  
メンバー 技術委員会(1名)、運営委員会(1名)、青年部(2名(作業進捗により増員可能性))から推薦をもらう。
  - 2) 教育体系検討WG(仮称)  
リーダー 柏原委員  
メンバー 技術委員会(1名)、運営委員会(1名)、青年部(2名(H・Rグレード 各1名を想定))から、推薦をもらう。(委員会メンバーについては、教育体制が確立しているFABからを要望)
  - 3) 教育センター所管研修(社長の右腕育成講習会検討WG)  
妹尾委員(運営委 委員長)が、運営委メンバーから更にもう1名を人選(妹尾委員を含め合計2名)
- (2) 次回委員会 9月30日(金) 9:30 (場所は別途。鉄鋼会館又は全構協会議室を想定)

以上

## 人材育成委員会 (2022年度) 名簿

委員長	群馬県	大竹 良明	グレード
委員	新潟県	秋山 順一	H
委員	岡山県	妹尾 一人	M

運営委員会 委員長

次世代経営者研修WG			
リーダー(委員)	石川県	寺田 健信	H

教育体系検討WG			
リーダー(委員)	静岡県	柏原 正明	H

運営委員会	宮崎県	鴨林 昌利	M
技術委員会	香川県	谷本 匡朗	M
青年部	岐阜県	中野 貴博	R
青年部	東京都	金本 貴範	M

運営委員会	北海道	竹原 慎雅	H
技術委員会	広島県	山本 泰徳	H
青年部 (愛知県会長)	愛知県	鈴木 亮	R
青年部 (富山県会長)	富山県	西村 大仁郎	H

## 創立 50 周年記念事業準備委員会

- 1.開催日時 第 1 回／2022 年 8 月 8 日(実開催)  
第 2 回／2022 年 9 月 5 日(Web 会議)  
第 3 回／2022 年 9 月 12 日(Web 会議)

### 2.検討内容

#### ①記念式典、祝賀会について

開催(2023 年 7 月 14 日予定)まで 1 年を切っていることから、早急に会場を選定する必要あり

#### 【会場選定条件】

- ・開催規模／300 人程度
  - ・開催形式／式典(スクール形式)、祝賀会(正餐形式)を同日 2 部構成とする  
(式典と祝賀会は別部屋で行う)
  - ・開催会場については全国からのアクセスを考慮し、東京駅～品川エリア内を基本に選定する
- ※費用(来期予算)については華美にならない様、適切なレベルで検討する

#### ②記念誌発行について

- ・内容は 30 周年、40 周年記念誌を基本踏襲する形で進める
- ・特別記事を盛り込む内容で検討  
(例／青年部、関係団体、有識者との対談、鼎談等)

#### ③記念事業について

- ・単年で完結する事業とする  
(例／映像作成、基調講演等)
- ・50 周年という節目に相応しい内容、コンセプトのもの  
(今後発信、活用できるものにする)

＜2022 年度＞  
第 1 回運営委員会 議事要旨（案）

I. 日時 2022 年 9 月 1 日（木） 14：30：～17：00

II. 場所 東京 鉄鋼会館 802 号室  
(Web 併用開催)

III.出席者（敬称略）

委員会：東京出席 妹尾委員長、竹原・山田・松枝・渡辺・鴨林各委員

Web 出席 猪股・村岡・西井各委員

全構協：永井会長、米森相談役

(事務局) 小貫、平井、中村、滝本

IV.主要議事

1. 永井会長挨拶

2. 妹尾委員長挨拶及び委員自己紹介

3. 委嘱状交付及び副委員長選出

1) 永井会長から委嘱状交付

2) 全構協組織・委員会規程

主に次の内容を説明した。

・運営委員会は全構協三役・理事会の諮問機関である

・運営委員会は委員長を補佐する副委員長を選任する。

・委員には守秘義務がある。

3) 副委員長を選出：猪股委員（東北）、村岡委員（関東）

4. 各 WG への委員推薦

次の各委員を推薦することとした。

1) 全構協人材育成委員会からの派遣依頼

「次世代経営者研修 WG」：鴨林委員（九州）

「教育体系検討 WG」：竹原委員（北海道）

2) 鉄骨技術者教育センターからの推薦依頼

「あなたの会社を任せられるリーダー・社長の右腕 育成委員会」：

渡辺委員（四国）

5. 報告事項

1) 業績等調査アンケート

今年度実施分の集計速報版を報告し、全体版は別途報告予定とした。

また、調査に関する意見交換を行った。

6. 検討事項

1) 運営委員会について

今年度の全構協の事業計画の概要を説明し、意見交換を行った。

7. 次回開催予定について

現時点で 12 月 1 日（木）予定とし、状況により日程調整することとした。

以上

# グレード別決算状況 (未認定含む)

2022 S/H213 M507 R306 J18 未121 合計1,165/2,224  
2021 S/H185 M478 R295 J14 未114 合計1,086/2,259

## □売上総利益(粗利益)

グレード	黒字		収支均衡		赤字	
	2021調査	2022調査	2021調査	2022調査	2021調査	2022調査
S/H	90%	(▲3%) 87%	7%	(±0%) 7%	3%	(+3%) 6%
M	72%	(▲3%) 69%	18%	(▲1%) 17%	10%	(+4%) 14%
R	57%	(▲2%) 55%	26%	(▲1%) 25%	17%	(+3%) 20%
J	57%	(+15%) 72%	7%	(+4%) 11%	36%	(▲19%) 17%
未認定	50%	(+3%) 53%	30%	(▲5%) 25%	20%	(+2%) 22%
総平均	69%	(▲2%) 67%	19%	(▲1%) 18%	12%	(+3%) 15%

## □営業利益

グレード	黒字		収支均衡		赤字	
	2021調査	2022調査	2021調査	2022調査	2021調査	2022調査
S/H	85%	(▲4%) 81%	8%	(+3%) 11%	7%	(+1%) 8%
M	67%	(▲9%) 58%	17%	(+1%) 18%	16%	(+8%) 24%
R	50%	(▲6%) 44%	28%	(±0%) 28%	22%	(+6%) 28%
J	57%	(+10%) 67%	7%	(+4%) 11%	36%	(▲14%) 22%
未認定	43%	(▲3%) 46%	30%	(▲6%) 24%	27%	(+3%) 30%
総平均	63%	(▲5%) 58%	20%	(±0%) 20%	17%	(+5%) 22%

※( )内は、2021年調査との比較

## 地区別営業利益状況 (未認定含む)

	黒字		収支均衡		赤字	
	2021調査	2022調査	2021調査	2022調査	2021調査	2022調査
北海道	75%	(▲17%) 59%	20%	(+13%) 33%	5%	(+3%) 8%
東北	61%	(+2%) 63%	17%	(▲4%) 13%	22%	(+2%) 24%
関東	57%	(±0%) 57%	22%	(▲6%) 16%	21%	(+6%) 27%
北陸	69%	(▲9%) 60%	16%	(+3%) 19%	15%	(+6%) 21%
中部	60%	(▲8%) 52%	21%	(▲1%) 20%	19%	(+9%) 28%
近畿	67%	(▲6%) 61%	23%	(±0%) 23%	10%	(+6%) 16%
中国	63%	(▲13%) 50%	18%	(+2%) 20%	19%	(+11%) 30%
四国	70%	(▲14%) 56%	15%	(+17%) 32%	15%	(▲3%) 12%
九州	66%	(▲5%) 61%	18%	(+3%) 21%	16%	(+2%) 18%
全国平均	63%	(▲5%) 58%	20%	(±0%) 20%	17%	(+5%) 22%

※( )内は、2021年調査との比較



## 業績調査(従業員人数)その2

	グレード					合計
	S/H	M	R	J	未	
企業数 (回答)	213	507	306	18	121	1,165

従業員数	全体(人)	11,529	9,461	2,762	818	2,512	27,082
	平均(人/社)	54.1	18.7	9.0	45.4	20.8	23.2
	男性(人)	9,893	7,526	2,277	726	2,195	22,617
	平均(人/社)	46.4	14.8	7.4	40.3	18.1	19.4
	女性(人)	1,637	1,408	468	92	317	3,922
	平均(人/社)	7.7	2.8	1.5	5.1	2.6	3.4
	女性比率(%)	<b>14.2%</b>	<b>14.9%</b>	<b>16.9%</b>	<b>11.2%</b>	<b>12.6%</b>	<b>14.5%</b>

女性 職種別	一般事務	729	795	320	59	196	2,099
	<構成比(%)>	43.3%	55.5%	66.7%	64.1%	65.3%	<b>52.6%</b>
	営業関係	56	37	17	1	10	121
	<構成比(%)>	3.3%	2.6%	3.5%	1.1%	3.3%	<b>3.0%</b>
	設計・図面・積算	577	343	74	20	51	1,065
	<構成比(%)>	34.3%	24.0%	15.4%	21.7%	17.0%	<b>26.7%</b>
	製造管理・検査	190	108	26	2	20	346
	<構成比(%)>	11.3%	7.5%	5.4%	2.2%	6.7%	<b>8.7%</b>
工事・現場作業	48	75	22	8	8	161	
<構成比(%)>	2.9%	5.2%	4.6%	8.7%	2.7%	<b>4.0%</b>	
その他職種	83	74	21	2	15	195	
<構成比(%)>	4.9%	5.2%	4.4%	2.2%	5.0%	<b>4.9%</b>	
合計	1,683	1,432	480	92	300	3,987	
<構成比(%)>	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

## 【理 22-6-5】委員会活動状況報告 ④技術委員会

〈 2022 年度 〉

### 第 1 回 技術委員会報告

1. 日 時 2022年8月25日(木) 15:00~17:00  
2. 場 所 全構協第一会議室&Web会議(ホスト:全構協事務所)  
3. 出席者 永井会長、佐藤委員長  
萩澤、船山、和田、西山、佐野、谷本、古賀 各委員  
Web参加:今泉、山本 各委員  
(事務局) 新村

#### 4. 議事次第

資料No.

1) 会長挨拶

2) 委員長挨拶及び委員紹介

〈2022年度~23年度〉委員会名簿・・・・・・・・・・・・・・ No. 1

3) 委嘱状交付及び副委員長選出

→萩澤副委員長、西山副委員長に決定

(参考)委員会規程・・・・・・・・・・・・・・ No. 2

4) 2022年度「技術関連」事業計画について

技術関連事業計画・・・・・・・・・・・・・・ No. 3

5) 技術委員会での検討事項について

①認定工場の技術者・技能者の資格有効期限を含めた一覧表の管理について

(参考)・品質管理委員会報告(2021年度第5回理事会)・・・・・・・・・・ No. 4

・技術者・技能者一覧表・・・・・・・・・・・・・・ No. 5

→次回再度協議

②8月8日特別委員会におけるテーマ検討状況

→人材育成委員会より2WGについて委員派遣依頼があり、各WGに委員1名を選出

1. 次世代経営者研修WG(仮称) 谷本委員

2. 教育体系検討WG(仮称) 山本委員

6) その他

①次回開催 2022年10月13日(木) 15~17時

7) 委員長講評

以 上

## 【理 22-6-6】 生命共済 事業所加入率向上施策について

### 生命共済の「事業所加入率向上施策」の実施について (状況報告と今後の対応案)

本年 2 月に各県組合に依頼した「事業所加入率向上施策」については、現状次の通り確認し、その状況をふまえ今後の対応について検討する。

#### 1. 依頼した施策内容

- 1) 実施目標：各正会員（都道府県組合）単位で 1 事業所以上の新規加入を目標に実施する。
- 2) 実施方法：各正会員が状況をふまえて具体的な実施方法を検討する。
- 3) 実施期間：2022 年 8 月末迄を目安に実施する。

#### 2. 事業所加入率の状況

- 1) 現時点での加入率：34.5% ※2 月時点とほぼ同率
- 2) 依頼後の加入・脱退等の状況
  - ・新規加入：13 正会員 16 社
  - ・既加入事業所の脱退：21 社

#### 3. 今後の対応について（案）

共済支部推進担当者連絡会議（2022 年 9 月 2 日開催）における検討

- 1) 推進担当者から施策の実施状況について次の意見があった。
  - ・支部や正会員の会議等で協力要請をしているが、各事業所では保険に関する繋がりや制約等があるために全構協生命共済への新規加入は難しい場合が多く、加入率向上は厳しい状況である。
- 2) 上記意見をふまえ、次の対応案とする。
  - ・2023 年 2 月末迄の約半年間を目安に施策を継続する。

※2022 年 8 月末迄の実施期間に新規加入実績のなかった正会員は 1 事業所以上の新規加入を目標とし、新規加入実績のあった正会員も可能であれば新たな事業所の新規加入をお願いしたい。

以上

## 【理22-6-7】就業規則の見直しについて

### 【 全構協 就業規則 】

#### 見直し概要と今後のスケジュールについて(報告)

##### 1. 見直し概要

※詳細は別紙参照

当協会の業態・規模・現況等を踏まえ、最低限必要な見直しを実施した。

##### (1) 法令改正、新法令への準拠

※法令は略称で記載

- ・ 法令(改正法令・新法令を含む)に準拠していない就業規則上の条項は無効となる等のため、最低限必要な改訂を行った。
  - ⇒ 労働条件・休暇 深夜労働等、年休時効と時季変更権、女性保護(労基法)
  - ⇒ 身元保証 法令上最長の5年と規定(民法)、賠償義務は賃金の6か月分
  - ⇒ 妊産婦・介護 育児・介護休業法、男女雇用機会均等法に関する条項を追記
  - ⇒ 雇用期間の延長 65歳まで雇用と70歳まで雇用の努力義務(高齢者雇用安定法)
- ・ 懲戒区分の明確化と、諭旨退職・懲戒解雇の際の退職金の一部または全部の不支給明記
- ・ パワハラ防止法に準拠し、ハラスメントの禁止を規程に追記

##### (2) 適用範囲の明確化等(と除外規定)

- ・ 適用範囲を定めなければ全職員に就業規則が適用されるため、改訂を実施した。
  - ⇒ 契約社員・パートタイマーの、一部条項(休日、年休等)の適用除外
- ・ 負担大の条件(休業)が本年4月から新入職員にも適用されることから、除外規定を定めた。
  - ⇒ 新入1年未満の職員の、育児・介護休業法に基づく休業の取得権利制限(合法措置)

##### (3) 社会的時流への対応

- ・ 夏季休暇を8月12～15日に変更(現行は、同13～16日)
- ・ 正職員の結婚休暇の取得可能期間を規程に追記
- ・ 在宅勤務・テレワークを規程に追記
- ・ 同居家族等が感染症に罹患時のテレワークを追記(家族がコロナ等に罹患した場合を想定)

##### (4) 今後採用する職員へのリスク対応(万への備え)

- ・ 今後、特殊状況が発生の場合、就業規則だけで協会を守ることは困難だが、最低限の文面を各条項に追記(経歴詐称等による採用取消、退職後の守秘義務、懲戒事項の網羅等)

##### 2. 今後のスケジュール

09月20日(火)	三役会(本日) 理事会に向けての三役報告
09月29日(木)	理事会
09月30日(金)	労基署に届出(就業規則変更届・就業規則・職場代表意見書)
10月01日(土)	就業規則(改訂版) 施行

以 上

就業規則 変更点 整理表

条項	条項名	主な変更点	変更目的				条項への対応					
			法令 準拠	明確 化	時流 対応	企業 防衛	追加	変更	修正			
第1章	総則											
第1条	総則											
第2章	勤務											
第22条	休日											
第31条	育児・介護休業 ※労使協定も締結											
第3章	安全および衛生											
第4章	災害補償											
第5章	表彰											
第6章	懲戒											
第51条	懲戒											
第52条	譴責・減給・出勤停止											
第53条	諭旨退職・懲戒解雇											
第54条	賃金の減額および退職金の減額・不支給											
第7章	立候補および公職就任の取り扱い											
第8章	休職											
第9章	ハラスメント											
第61条	禁止行為											
第10章	在宅勤務・テレワーク											
第63条	テレワーク											
第11章	解雇および退職											
第65条	定年の延長											

## 【理 22-6-8】反転スカラップの勉強会対応について

2022年9月29日

### 「反転スカラップ工法」勉強会への共催について

日本製鉄（株）、日建設計他が共同開発した「反転スカラップ工法」の勉強会を一般社団鉄骨現場溶接協会（以下現溶協）が企画し、鉄建協が共催の方針です。現溶協より、当協会に対し共催の可否について問い合わせが来ております。

開催者に加わることが勉強会参加への条件となっております。梁端部の現場溶接が主な対象ですが、日建設計などが物件で工法指定する可能性もあり、工場加工にも影響のあるディテールですので、当協会としても共催する方針で進めることをご了承いただきたく存じます。

勉強会の予定内容は下記の通りです。

日時 2022年11月18日（金）  
場所 株式会社戸塚溶接工業内  
住所 千葉県野田市目吹508-1

#### タイムスケジュール案

8:00	試験場到着
8:15 ~ 9:00	座学
9:15 ~ 12:45	施工試験
12:45 ~ 13:30	昼食
13:30 ~ 14:30	UT、外観検査
14:30 ~ 16:00	質疑・応答
16:30 ~	まとめ

参加人数 90人規模で決定。

駅からの送迎バス及び車での来場対応を予定（昼食込み）

開催費用は総額で200～250万円程度で予定

主催者各協会の負担は、参加者人数による比例配分とする

全構協の参加者分として20人程度は確保できる予定

主催者以外での参加は原則考えていない（公募はしない）

参加者負担は各協会にて自由に取り決めることとする。

→20名、1/4の負担として負担額50～70万円と想定される。（3万円/人程度の費用）

但し、他団体を含めた参加者数によって総額は変動する。従って、全額参加者負担とした場合、事前に参加費を決定できない。新技術への対応の側面もあり、参加者費用を一定額とし、協会として一部を費用負担することとしたい。

以上

日本製鉄（株）HP：外法一定 H 形鋼 ハイパービーム®を活用した合理化工法より引用

### 梁端ストレート工法（反転スカラップ工法）

「梁端ストレート工法（反転スカラップ工法）」は、工事現場で柱と梁とを溶接する梁端接合部において、ハイパービーム®などの梁端部に改良型スカラップ（以下、反転スカラップ）を適用することにより、従来のスカラップ工法を大きく上回る繰返し変形性能を発揮する工法です。（一財）日本建築センターの評定を 2021 年 4 月に取得（BCJ 評定-ST0311-01 「反転スカラップを用いた梁端工事現場接合工法」）しました。

#### 本工法の特長と採用メリット

- 変形性能の向上

工事現場で柱と梁とを溶接する梁端接合部において、梁端部に反転スカラップを適用することにより、従来のスカラップ工法を大きく上回る繰返し変形性能を発揮します。

- 鉄骨製作・現場施工の合理化

優れた変形性能が期待できるため、超高層建築物などでよく使用される梁端部の水平ハンチをなくすことで、梁の製作の複雑化や現場溶接量の増大の解消なども可能となります。

- 長周期地震動に対する設計

超高層建築物などでの長周期地震動に対する梁端接合部の安全性の検証を行う場合 1) は、ノンスカラップ工法と概ね同等の繰返し変形性能を有する梁端接後部として設計することができます。

1) 平成 28 年 6 月 24 日国住指第 1111 号 別紙 5-1 「超高層鉄骨造建築物の繰返し変形による梁端部破断の検証方法」による

	水平ハンチ (従来工法)	本工法	ノンスカラップ (従来工法)
梁端の形式とスカラップの形状			
梁端部	水平ハンチ	ストレート	
梁端部の溶接	工事現場溶接		工場溶接

梁端の形式とスカラップの形状





工場名	〇〇鉄工所〇〇工場	※この欄には、全構協の構成員データベースの情報が表示されます。年に2回更新されます。変更があった場合は、所属の正会員に連絡のうえ、「構成員登録変更届」を提出してください。
会社代表者名	〇〇〇〇	
郵便番号	〒999-9999	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇	
電話番号	099-999-9999	
グレード	M	
認定番号	TFBM-999999	
評価対象期限	2022/9/30	
年間加工能力	<input type="text"/> トン	※この欄には、大臣認定取得時の情報が表示されます。年に2回更新されます。
資本金	<input type="text"/> 万円	※最近3年間の建築鉄骨の平均加工トン数を記入してください。ただし外注製作分は除きます。
従業員数	<input type="text"/> 人	※大臣認定工場の性能評価申請書の「会社概要」の数値を記入してください。（以下同様）
敷地面積	<input type="text"/> m <sup>2</sup>	※社長を除く正社員及び社内外注工員（ただし正社員と同一の勤務時間の者に限る）の総数を記入してください。
建築面積	<input type="text"/> m <sup>2</sup>	※敷地全体の面積を記入してください。
得意分野	<input type="text"/>	※工場の建築面積を記入してください。ただし事務所、倉庫、現寸場、食堂は除きます。
会社HPのURL	<input type="text"/>	※全角相当30字以内で自由に記入してください。 (例) 商業ビル、工場・倉庫、特殊鉄骨、軽量鉄骨、階段、金物
組合の会員紹介ページのURL	<input type="text"/>	※会社のホームページがある場合は、そのURLを記入してください。（最初は全構協のデータベースに登録されているURLが表示されます。）
組合の会員紹介ページのURL	<input type="text"/>	※所属組合のホームページに会員紹介ページがある場合は、貴社のページのURLを記入してください。

※認定番号が変更になった場合は、情報はすべて削除され、再登録が必要となりますのでご注意ください

## 大臣認定工場の追加情報の登録状況

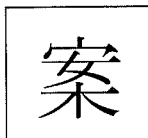
2022.9.12

支部	県 コード	都道府県	認定工場数	追加情報 登録工場数	登録比率	100%
北海道	01	北海道	69	8	12%	
東北	02	青森県	27	4	15%	
	03	岩手県	26	4	15%	
	04	宮城県	34	5	15%	
	05	秋田県	22	3	14%	
	06	山形県	21	3	14%	
	07	福島県	49	6	12%	
関東	08	茨城県	42	5	12%	
	09	栃木県	41	5	12%	
	10	群馬県	58	5	9%	
	11	埼玉県	47	2	4%	
	12	千葉県	46	4	9%	
	13	東京都	40	7	18%	
	14	神奈川県	36	4	11%	
	15	新潟県	63	11	17%	
	16	山梨県	35	4	11%	
	17	長野県	28	0	0%	
北陸	18	富山県	39	2	5%	
	19	石川県	22	1	5%	
	20	福井県	49	5	10%	
中部	21	岐阜県	51	5	10%	
	22	静岡県	73	5	7%	
	23	愛知県	106	8	8%	
	24	三重県	52	8	15%	
近畿	25	滋賀県	20	2	10%	
	26	京都府	35	1	3%	
	27	大阪府	94	6	6%	
	28	兵庫県	69	10	14%	
	29	奈良県	30	2	7%	
	30	和歌山県	26	1	4%	
中国	31	鳥取県	13	1	8%	
	32	島根県	14	2	14%	
	33	岡山県	24	3	13%	
	34	広島県	58	1	2%	
	35	山口県	30	4	13%	
四国	36	徳島県	23	4	17%	
	37	香川県	28	2	7%	
	38	愛媛県	31	2	6%	
	39	高知県	22	0	0%	
九州	40	福岡県	48	9	19%	
	41	佐賀県	23	3	13%	
	42	長崎県	18	2	11%	
	43	熊本県	23	5	22%	
	44	大分県	17	2	12%	
	45	宮崎県	24	2	8%	
	46	鹿児島県	23	1	4%	
	47	沖縄県	12	0	0%	
		合計	1781	179	10%	

## 【理 22-6-10】 青年部代表者との意見交換会について

2022年10月

各都道府県 青年部組織代表者 各位



(一社) 全国鐵構工業協会  
会長 永井 毅  
【公称印略】

### 全構協と各都道府県 青年部組織代表者との意見交換会開催について (ご案内)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会が行っております、「技術開発・普及事業」、「会員共益事業」等の諸事業にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会では今後も「業界及び会員の健全な発展」を目指し、事業を実施してまいりますので、引き続き青年部の皆様のご協力をお願い致します。つきましては、今後の活動活性化、連携強化に向けて、青年部の皆様と取組み方針、連携の在り方等について、相互の意見交換を実施したいと考えております。

万障お繰り合わせの上、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

尚、意見交換会終了後、全構協理事を交え、懇親会を予定しておりますので、合わせてご出席をお願い致します。

◎出欠につきまして、10月〇〇日( )までに、「出欠回答書」にご記入の上、返送をお願い致します。

◎また、意見交換会をより充実したものとするため、各都道府県青年部会の意見をまとめていただき、「意見・要望の事前提出」をお願いする予定です。

後日、あらためて依頼をさせていただきます。

敬具

記

1. 日時 ・意見交換会：2022年11月16日(水) 13:00~16:00 (予定)  
・懇親会 : // 16:00~17:00 (予定)
2. 場所 : 鉄鋼会館 801号室 (東京都中央区日本橋茅場町3-2-10)
3. 参加者 (全構協) 永井会長、大島副会長、大竹副会長、米森相談役  
各支部支部長(理事)、小貫専務理事、全構協事務局  
(青年部) 各都道府県 代表者(会長) 1名  
全青会 高田会長
4. 費用負担について  
・交通費は、全構協にて実費相当(\*)を負担。(宿泊費、日当は含みません)  
(\* 全構協の旅費計算ルール<各県の組合所在地起点>に基づき支払い。)
5. 問合せ先：全構協総務 大原 (TEL) 03-3667-6501 / (Fax) 03-3667-6960  
(E-mail) [somu@jsfa.or.jp](mailto:somu@jsfa.or.jp)

以上

# 案

## 全構協・青年部会 意見交換会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会

場所: 鉄鋼会館801室

日時:2022年11月16日(水)

13:00~16:00

### 1. 全構協 永井会長挨拶

### 2. 出席者ご紹介

### 3. 意見交換会

#### (1) 全構協 事業概況 説明

- ① 喫緊の課題・テーマ、重点事業（特別委員会、WG活動関係等）
- ② 2022年度事業計画、事業実施状況

#### (2) 青年部の活動状況

- ① 青年部の活動状況
- ② 青年部活動を実施して行く上での課題・悩み
- ③ 青年部会から全構協への要請（お願い）

#### (3) 意見交換（今後に繋がる視点で）

- ① 全構協と青年部の連携活動について
- ② 人材育成についての取組み

#### ◎ 懇親会

- ・時間 : 16:00 ~ 17:00 (予定)
- ・場所 : 鉄鋼会館 701 号室

以上

## 【理 22-6-11】 ウエルディングショー出展結果総括

### 2022 国際ウエルディングショー出展報告

#### 1. 開催概要

期間:2022年7月13日(水)～16日(土) 場所:東京ビッグサイト 東展示場

主催:(一社)日本溶接協会、産報出版

#### 2. 出展内容

##### 1) 出展方針とテーマ(キャッチフレーズ)

- ・出展方針:「全構協の活動」に関する紹介・宣伝の場とする
- ・テーマ(キャッチフレーズ):「安心・安全な鉄骨づくり」

##### 2) ブース出展内容

- ・協会概要等のパネル掲示
- ・溶接(欠陥)サンプル、モックアップ、K型ブレースを展示(青年部対応)
- ・「建築鉄骨ができるまで」「鉄骨ガールと工場見学」等の動画再生
- ・協会パンフ、鋼材便覧、紙うちわのブース来場者への配布

※コラボ展示スペースの建設コーナーへの試験体貸出し(日本溶接協会からの依頼/技術部対応)

#### 3. 出展状況

##### 1) 開催期間中の対応、来訪状況

- ・初日(7月13日)は開場前にセレモニー(開会式)、役員・理事も初日中心に来場
- ・前半(水・木)は企業・学生中心、金・土は個人単位での来場比率が高い結果

##### 2) 来場者数

	ウエルディングショー全体	全構協ブース来場/概算
7月13日(水)	22,173名	95人
7月14日(木)	28,024名	90人
7月15日(金)	29,765名	113人
7月16日(土)	20,451名	50人
合計	100,413名	348人

※来場者数/2016 大阪:88,945名、2018 東京:100,428名、2020 大阪:中止

##### 3) パンプ等配布状況

	準備数	配布数
協会案内(全構協パンフレット)	1,000部	151部
鋼材便覧※	※100部	※98部
紙うちわ	1,000枚	380枚

※鋼材便覧は、日本溶接協会ブースでも配布(400部準備→全数配布済)

以上

【理22-6-12】 賀詞交歓会の開催方法について

2023年賀詞交換会開催方法検討

(1) 賀詞交歓会 開催対応準備スケジュール

- ・ 10月 開催内容（開催方法、開催規模、招待者）検討開始、講演会準備
- ・ 11月 開催内容決定（開催方法、招待者、講演会）、招待状送付<11月末>  
来賓対応（招待状送付、ご挨拶依頼）
- ・ 12月 出欠回収<12月中旬>、開催内容整理
- ・ 1月 賀詞交換会開催

(2) 開催方法検討<案>

分類	理事会	理事長会	(講演)	賀詞交歓会
	鉄鋼会館802-803	鉄鋼会館801	鉄鋼会館801	鉄鋼会館900

①従来方式

従来型	・ 足元の理事会 相当	・ 2022年6月の総会 相当 ・ 従来は、701号室	・ 2022年6月の総会 相当で可能 ※1 デーブル人数増 ※一般参加者用 座席（要追加）	・ 立食形式 ・ 2019年までの開催内容 ※肩が触れるレベル (かなり密)
-----	----------------	-----------------------------------	---	---

②検討案

	・ 足元の理事会 相当	・ 2022年6月の総会 相当	*講演会なし	・ 食事なし、飲物のみ ・ 相互挨拶（懇親）の会 ※参加人数制限 ※時間短縮
--	----------------	--------------------	--------	---

\*講演会実施に代わる、有効・有益な活動を検討する。

# その他の定例報告事項

【理22-6-他1】構成員登録状況

**構成員登録・取消社数累計表**

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和4年3月31日現在 (令和3年度増減数)		27	30	2,194
令和4年4月25日 第1回理事会	3月31日	(0)	(12)	2,194
令和4年5月24日 第2回理事会	5月17日	3	1	2,196
令和4年6月15日 第3回理事会	6月6日	0	2	2,194
令和4年6月15日 第4回理事会	—	—	—	—
令和4年7月12日 第5回理事会	7月6日	3	1	2,196
令和4年9月29日 第6回理事会	9月22日	9	12	2,193
<b>累 計</b>		<b>15</b>	<b>16</b>	<b>2,193</b>

《グレード別内訳》

S : 6      H : 286      M : 819      R : 597      J : 41      未 : 444      合計 : 2,193



## 登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和4年9月22日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数	
		登録 社数	取消社数									合 計
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他				
平成16年度合計	65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813		
平成17年度合計	35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770		
平成18年度合計	49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739		
平成19年度合計	51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711		
平成20年度合計	49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652		
平成21年度合計	37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538		
平成22年度合計	23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395		
平成23年度合計	14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260		
平成24年度合計	20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200		
平成25年度合計	13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171		
平成26年度合計	26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158		
平成27年度合計	36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169		
平成28年度合計	36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172		
平成29年度合計	56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201		
平成30年度合計	34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208		
令和元年度合計	25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199		
令和2年度合計	32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197		
令和3年度合計	27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194		
令和4年度	第2回 (5月17日)	3	0	0	0	0	1	1	2	2,196		
	第3回 (6月6日)	0	1	0	0	0	1	2	-2	2,194		
	第4回 ( - )	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	第5回 (7月6日)	3	0	0	1	0	0	1	2	2,196		
	第6回 (9月22日)	9	0	3	1	0	8	12	-3	2,193		
	第7回 ( 月 日)											
	第8回 ( 月 日)											
	第9回 ( 月 日)											
	年度末処理											
4年度計	15	1	3	2	0	0	10	16	-1	2,193		
累 計	1,078	501	686	539	127	79	1,174	3,106	-2,028	2,193		

1. 転・廃業内訳	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	転業 1社	転業 1社	転業 0社	転業 2社	転業 1社
	廃業 4社	廃業 9社	廃業 12社	廃業 8社	廃業 2社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	0	2	2	1	11	16

# 構成員登録社数・増減一覽表

(R4. 7. 7~R4. 9. 22)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回		
北海道	北海道	75			0	75		
	東北	青森	36			0	36	
		岩手	32			0	32	
		宮城	42			0	42	
		秋田	23			0	23	
		山形	27	1		1	28	
		福島	61			0	61	
		関東	茨城	61			0	61
			栃木	50			0	50
			群馬	63	1		1	64
埼玉	53				0	53		
千葉	59				0	59		
東京	47				0	47		
北陸	神奈川		41	2		2	43	
	新潟		86			0	86	
	山梨		31			0	31	
	長野		67			0	67	
	富山	39		1	-1	38		
	石川	33			0	33		
中部	福井	42			0	42		
	岐阜	74			0	74		
	静岡	95	1	2	-1	94		
	愛知	130		1	-1	129		
	三重		62			0	62	
		合計	2,196	9	12	-3	2,193	

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回	
近畿	滋賀	31			0	31	
	京都	46	2	1	1	47	
	大阪	110	1	1	0	110	
	兵庫	74			0	74	
	奈良	37			0	37	
	和歌山	37			0	37	
	中国	鳥取	14			0	14
島根		23			0	23	
岡山		33			0	33	
広島		81		2	-2	79	
山口		38			0	38	
四国		徳島	25			0	25
		香川	44			0	44
	愛媛	41			0	41	
	高知	23		1	-1	22	
	九州	福岡	52			0	52
		佐賀	25			0	25
		長崎	19		1	-1	18
熊本		24			0	24	
大分		20		1	-1	19	
宮崎		25			0	25	
鹿児島		28	1		1	29	
沖縄	17		1	-1	16		
合計		2,196	9	12	-3	2,193	



構成員登録取消企業一覽表

令和4年9月22日現在  
令和4年9月29日決定

( 12 社 )

	都道府 県名	加入 年月日	構成員 登録No.	受付年月日	構成員登録取消企業名	代表者名	取消理由	グレード	取消承認 年月日
1	富山 県	H5.2.23	16-080	R4.9.21	甲栄株式会社	城川 義孝	高齢化・技術者不足等の為	未	R4.9.29
2	静岡 県	S58.10.7	22-147	R4.8.31	佐野製缶株式会社	佐野 胖	廃業	M	"
3	静岡 県	H10.2.19	22-252	R4.8.4	有限会社松島鐵工所	松島 義光	工場移転し鉄骨関係が皆無の為	未	"
4	愛知 県	H10.2.19	23-278	R4.8.22	有限会社カネヨシ	田中 敏光	方針がそぐわなくなった為	未	"
5	京都 府	R2.9.29	26-158	R4.8.17	有限会社吉村溶接鉄工	吉村 敏道	担当の代表取締役退職の為	未	"
6	大阪 府	S55.7.5	27-012	R4.8.25	株式会社高谷鉄工所	高谷 静明	廃業	未	"
7	広島 県	H3.11.20	34-116	R4.9.5	有限会社岡崎鉄工	有野 和彦	グレード更新できない為	J	"
8	広島 県	H21.6.5	34-165	R4.9.7	株式会社福相工業	小川 光雄	後継者不在の為	R	"
9	高知 県	H4.9.22	39-111	R4.9.8	有限会社楠目鉄工	楠目 次男	鉄工業停止の為	M	"
10	長崎 県	S55.6.6	42-037	R4.9.22	株式会社モトオ	元尾 和博	他団体入会の為	未	"
11	大分 県	H5.10.26	44-066	R4.9.21	株式会社スミテック	住本 武則	主たる業務変更の為	未	"
12	沖縄 県	H4.5.21	47-029	R4.8.2	有限会社徳秀工業	崎濱 秀光	会社都合	未	"

【理22-6-他2】 着工面積と推計鉄骨需要量

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移  
(国土交通省建築着工統計速報による)

2022年9月1日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
20(令和13)年度	4月	10,536	105.4	3,876	109.9	120	60.3	393,600	108.5
	5月	10,422	110.4	3,876	110.1	108	39.1	393,000	107.4
	6月	10,850	109.3	4,124	113.0	175	205.9	421,150	114.1
	7月	10,664	109.9	3,701	104.5	109	259.5	375,550	105.4
	8月	9,537	101.3	3,225	110.7	74	137.0	326,200	110.9
	9月	9,948	98.8	3,427	101.8	179	71.3	351,650	100.7
	10月	12,094	125.8	5,309	161.7	220	205.6	541,900	162.4
	11月	10,125	108.0	3,464	115.5	141	49.3	353,450	112.5
	12月	10,655	116.1	4,274	126.4	364	161.1	445,600	127.6
	1月	8,622	102.9	3,477	109.2	145	151.0	354,950	109.9
	2月	9,221	107.3	3,314	107.5	230	116.2	342,900	107.8
	3月	9,792	93.8	3,513	93.3	101	174.1	356,350	93.9
	年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300
20(令和2)年度	4月	11,250	106.8	4,031	104.0	294	245.0	417,800	106.1
	5月	9,704	93.1	3,414	88.1	301	278.7	356,450	90.7
	6月	11,045	101.8	4,247	103.0	130	74.3	431,200	102.4
	7月	11,248	105.5	4,349	117.5	246	225.7	447,200	119.1
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計		43,247	101.8	16,041	103.0	971	189.6	1,652,650

(単位) 面積 1,000㎡  
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量  
鉄骨造 ㎡ × 100kg  
鉄骨鉄筋造 ㎡ × 50kg

【理22-6-他3】主要会議日程

2022(令和4)年度 主要会議日程表

現在

2022.9.20

□ ↓ 夏期・年末年始休日      ◇ ↓ 振替休日

■ ↓ 土日・祝日                      ◇ ↓ 休日出勤

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
4	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
5	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
6	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
7	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
9	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
10	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
12	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
13	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
15	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
16	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
18	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
21	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
22	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
23	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
24	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
25	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
26	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
27	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
28	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
30	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
31	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

開催年月日	三役会		理事会		総会		全国理事会 委員長会議		委員会		その他		備考	
	日	時	日	時	日	時	日	時	日	時	日	時	日	時
2022年(令和4年)	4月8日	金 12:00					4月15日	金 15:00 ※						
	4月17日	日 12:00		15:00							17:30	懇親会		※全国事務局長会議 沖繩開催
	5月24日	日 10:30		14:00 ※										12:00 全鉄評取締役会 ※決算・事業報告・総会招集
	6月15日	水 9:00		11:30										14:00 全鉄評株主総会
	7月5日	火 14:00		15:00										
	8月12日	日 14:00		15:00										
	8月26日	金 14:00												
	9月29日	日 9:30		11:30										11:00 技術審議会 15:00 賛助会員との懇談会
	10月18日	日 14:30												
	11月8日	火 14:00												
	11月15日	火 10:30		14:00										12:00 全鉄評取締役会
	11月16日	水												16:00 青年部会との懇親会 12:00 全鉄評取締役会
	12月15日	木												
	12月16日	金 14:00												
2023年(令和5年)	1月20日	金 9:30		12:00										※全国理事長会
	2月14日	日 14:00												
	2月21日	日 10:30		14:00										
	3月7日	日 14:30												
	3月14日	日 10:30		14:00										12:00 全鉄評取締役会

関連団体	開催年月日	開催内容
【青年部会】 総会・全国大会	2022年 月 日 ( )	
その他		
2023(令和5)年度予定		
	2023年4月7日(金)	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
	2023年5月16日(火)	三役会(14:30) 参考: 全鉄評取締役会(12:00)
	2023年5月28日(火)	三役会(10:30) 理事会(14:00)
	2023年6月16日(金)	三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考: 全鉄評株主総会(14:00)

【理22-6-他4】支部報告

＜北海道支部＞ 状況報告書

2022年(令和4年) 7月分

提出日 令和4年8月15日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・5日(火) 三役会、役員会 ・19日(火) 例会	・7日(木) 鉄骨部会 第3回役員会 ・13日(水)、20日(水)、29日(金) 工場審査
函館	・28日(木) 例会、懇親会	
室苦小樽		
旭川	・11日(月) 営業会議	
北見	・20日(水) 委員会(例会)	
帯広	・27日(水) 例会	
釧路		

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 9	2 ~ 5	90 ~ 110			○			
函館	4	3 ~ 4	1 ~ 3	80 ~ 100			○			
室苦小樽	5 ~ 8	0 ~ 2	0 ~ 2	85 ~ 100		○				
旭川	9	3 ~ 5	/	90 ~ 110			○			
北見	/	1 ~ 5	/	80 ~ 100		○				
帯広	3 ~ 8	2 ~ 8	2 ~ 3	100			○			
釧路	7	5 ~ 7	/	90 ~ 120		○				

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みについては、S・Hグレードはほとんどが「3~9ヶ月」、Mはほとんどが「2~9ヶ月」、R・J・未はほとんどが「2~5ヶ月」となっている。工場稼働率はS・Hは全社が「90~100%」、Mはほとんどが「90~100%」、R・J・未はほとんどが「75~110%」となっている。見積りは「少ない」が増えて56%、「同じ」が34%となった。鋼材価格の上昇と納期の面で各社とも苦慮している。また、新規見積物件の減少、資材価格の高騰による工事中止が目立つとのコメントもある。 共同積算:1-7月 49,539t 平年比59% 前年比63%
函館	・各会員共に、現在稼働率は高めだが、見積りが少ないため秋以降の仕事を心配する声も多い。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・引き続き物件数・加工量共に減少しているところが多く、稼働状況はあまり良くない。鋼材の他、工具類、備品類に関しても値上げが止まらない状況。ゼネコンからの指値も厳しい金額になっている。
旭川	・各社稼働率は高いが、年内工事の見積りは減少している。
北見	・小型物件が多く、低効率な生産状況で推移している。この先、多少のまとまった物件はありそうだが、状況はあまり変わりそうにない。
帯広	・先月と状況に変化はないが、秋以降の引き合いが少なく10月以降の仕事量が懸念される。
釧路	・6月同様に、各工場の稼働率は90%以上となり忙しい状況で、8月~9月もこの状況が続くそうである。

## ＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 8月分

(A) 提出日 令和4年9月13日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・2日(火) 三役会、役員会	・4日(木) 鉄骨部会 第4回役員会 全構協三役と北海道支部役員との意見交換会  ・19日(金)、24日(水) 工場審査
函館		
室苦小樽	・26日(金) 室蘭ブロック会議	
旭川	・8日(月) 営業会議(4社)	
北見	・23日(火) 委員会(例会)	
帯広		
釧路		

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 7	2 ~ 3	90 ~ 110		○				
函館	2	2 ~ 3	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
室苦小樽	5 ~ 9	0 ~ 3	1 ~ 2	85 ~ 100		○				
旭川	10	3 ~ 6	/	100 ~ 120			○			
北見	/	1 ~ 4	/	80 ~ 100			○			
帯広	3 ~ 8	2 ~ 7	1 ~ 2	100			○			
釧路	12	3 ~ 6	/	100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みについては、S・Hグレードはほとんどが「3~9ヶ月」、Mグレードはほとんどが「2~7ヶ月」、R・J・未認定はほとんどが「2~3ヶ月」となっている。工場稼働率はS・Hは全社が「90~100%」、Mはほとんどが「90~110%」、R・J・未認定はほとんどが「75~110%」となっている。見積りは「同じ」が50%となり「少ない」の44%を上回った。資材価格の高騰による工事の中止・延期が出てきているとのコメントもある。見積りについては「少ない」というところが多いが、中には「多くなってきた」というところもある。共同積算:1-8月 61,589t 平年比65% 前年比68%
函館	・各会員共に、稼働率は高めで推移しているが、年末以降の手持ち及び見積り量は少ない。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・今月は、来年の物件の概算見積りが出てきているが、本見積り件数は先月よりも減少傾向にあり、民間小規模案件の減少が著しい。稼働状況についてはそれほど改善されていないところもある。引き続き、ゼネコンの指し値が厳しい金額になっている。
旭川	・現在はかなり忙しい状況。Mグレードで一部見通しも改善し、2月頃まで決まってきた。
北見	・小型物件が多く、低効率な生産状況で推移している。今後、冬場に向けての物件が薄そうである。
帯広	・現状の各社工場稼働には大きな変化もなく順調ではあるが、新規物件の引き合いも少なく、先が見えないという声もある。
釧路	・7月同様に、各工場の稼働率は90%以上となっており忙しい状況で、9月~10月もこの状況が続くそうである。



**<東北支部> 状 況 報 告 書**  
2022 年（令和 4 年）7 月分

(A)

提出日 令和 4 年 7 月 3 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○7/26 積算業務担当者会議	○7/21 東北鉄構工業連合会積算業務委員会 (WEB) ○7/12～16 NDI-UT レベル 1 基礎講座 (多賀城)
岩手県	○7/6,15 前期性能評価 (各 1 社) ○7/6 県南支部会 ○7/22 盛岡支部会 (中止)	
宮城県	○7/21 工場性能評価審査 (1 社)	
秋田県	○7/12 営業担当者会議 ○7/14 役員会・代表者会議 ○7/22,28 性能評価工場審査 (2 社)	
山形県	○7/20 三役会、役員及び庄内支部合同会議	
福島県	○7/1,7,8,26,28 技術・品質サポート (7 社) ○7/20 性能評価工場審査 (1 社) ○7/21 第 2 回理事会 ○7/31 郡山支部会	

(B)

都道府県	①手持ち工事量 (ヵ月)			②稼働率 (%)	③見積物件の傾向			④工場加工費 (千円)		
	H	M	R・J		稼働率 (%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)
青森県	4～13	3～9	2～6	60 ～ 120			○			
岩手県	6～11	2～8	1～3	85 ～ 100			○			
宮城県	6～12	2～7	1～2	80 ～ 120			○			
秋田県	5～8	3～6	1～3	90 ～ 110			○			
山形県	3～12	3～12	1～4	90 ～ 110			○			
福島県	5～8	1.5～13	1～10	70 ～ 120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	見積物件数は先月に続き減少傾向であるものの、稼働率が全体的に微増。鋼材の値上がり分をアピールしてきた効果で理解してくれるゼネコンが少しずつだが増えている印象。しかし二次部材や運搬費用も変動する中、利益を確保するのが難しい状況が今後もまだ続きそうだ。
岩手県	見積物件数は引き続いて低調ながら、工場加工費がやや改善し、工場稼働率・手持ち工事量も増加に転じている。仕事のシェアが上手くいっている印象だが、景況感にバラつきが出てきている。円安、原油価格の動向、鋼材価格・副資材価格の動向等取り巻く環境に改善の兆しは見え、依然濃霧の中にある。
宮城県	見積もり物件の動きは変わらず低調。役所からの設計見積もりも小規模または改修工事の物件が多い。秋口までは忙しいもののそれ以降は稼働率も下がる見込み。材料のみならず消耗品類の値上げの依頼が急激に増えている。
秋田県	手持ち工事量、稼働率に大きな変動はないが、材料高騰による受注価格への転嫁がなかなか厳しく先行き不安。
山形県	県内見積物件数は今月も大幅に減少した。今後の仕事量確保が心配される。
福島県	各社、工場稼働率も高く、受注残もしばらく続く状況が続いている様子です。ただし、直近見積数は例年に比較し少ないこと、補助金物件が例年より多くでているが、予算や工期が FAB の実情と折り合っていないこと、資材値上げ等も今後どのように影響するのか不安が残ります。

## ＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2022 年（令和 4 年）8 月分

(A)

提出日 令和 4 年 9 月 1 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県		○8/23 東北鉄構工業連合会 8 月期役員会 （中止。書面配布）
岩手県	○8/10 県南支部会 ○8/23 盛岡支部会 ○8/30 理事会、BCP 策定に関する研修会（盛岡）	
宮城県	○8/25 営業担当者会議、理事会	
秋田県		
山形県	○8/9 技術・品質サポート（1社） ○8/10 工場審査（1社）	
福島県	○8/3,5,8,10,19,24,26 性能評価審査立会（7社） ○8/27 青年部役員会・ハイスキップ工法説明会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	5～12	2～6	1～5	70 ～ 120			○			
岩手県	6～12	2～6	1～3	75 ～ 100			○			
宮城県	6～12	2～7	1～3	60 ～ 110			○			
秋田県	6～8	3～7	0.5～4	80 ～ 120			○			
山形県	3～12	3～11	1～4	90 ～ 130		○				
福島県	6～8	1～12	1～10	70 ～ 130		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	手持ち工事量や稼働率は横ばいで推移するも、見積物件が大幅に減少。特に M・R クラスの地元案件の動きが低調。材料納期の調整と、依然高騰している鋼材・副資材価格の転嫁交渉に苦慮しながら、何とか仕事量を維持している状況。
岩手県	工場稼働率・手持ち工事量は高水準を維持して横ばいであり、工場加工費は上下しながらも横ばい傾向。しかし、見積物件数はこれまでの過去最低の水準を大きく下回り、史上空前の少なさであった。年末～年明け、春先にかけての加工量に不安感が広がっている。
宮城県	材料価格の上昇は若干落ち着いた感じがするが、見積物件数は変わらず低調。民官共に地元の中小規模の物件が少なく、稼働率・手持ち工事量・見積物件数のすべてが減少傾向。秋口の需要増に期待したいが、先行きが不透明に思える。
秋田県	手持ち工事量、稼働率に大きな変動はない。見積もり物件数も相変わらず少なく、受注単価も厳しいため先行き不安である。
山形県	前月に引き続き物件数は少ない。 工場稼働率は増加しているが、受注単価は相変わらず厳しく先行き不安である。
福島県	各グレード、受注残・稼働率ともに高い様子です。鋼材～電気代の値上げは続いており受注単価内でどれだけ利益を確保できるか厳しい状況かと思えます。現場工程管理の不備、設計～現場担当者の返答も遅く、ギリギリでの変更依頼等の問題がこれまで以上に増えているように聞こえます。また、製作協力・運搬・現場施工協力業者の確保も、しばらくは困難な状況が続くものと予想されます。

# ＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 7月分

提出日 令和4年8月5日

(A)	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
都道府県		
東京都	21日 理事会、M部会 工場審査サポート 1社、工場審査 4社	関東支部活動・行事等
千葉県	1日(金)鐵球会 7日(木)三役・支部長会、理事会 21日(木)北部支部会 工場審査3社	
神奈川県	28日 事業運営委員会 性能評価工場審査3件	7/12 第2回関東支部運営委員会
茨城県	8日 鉄骨適正品質研修会の準備打合せ(青年部役員会)、14日フィットテスト学科 WEB講習(中央労働災害防止協会)、その他 サポート1社	
埼玉県	6日(水)総務委員会、11日(月)青年部役員会、13日(水)組合理事会、協会の共済委員会合同会議、15日(金)PAWG(フェイズドアレイ実証実験)打合せ、19日(火)組合理事会、26日(火)担い手確保・育成ネットワーク幹事会、県東支部会、7月中 工場審査サポート1社、工場審査3社	7/20 第2回関東支部会
栃木県	7/1、7/4、7/12 性能評価サポート、7/5 運営委員会、7/6、7/7、7/8、7/19 性能評価審査、7/12 技術委員会、7/14 定例理事会及び国際ウエルディングショー見学会、7/15 青年部工場見学会、青年部と賛助会の交流会、7/20 10周年記念事業実行委員会	
群馬県	7/11正副理事長会議・役員会、工場審査(6社)	
長野県	7/1~3 とび実技検定、7/8~10 構造物鉄工実技検定、7/13 50周年記念誌 運営委員打合せ、7/22 第1回運営委員会、7/23~24 とび学科講習会1級・2級、7/27 50周年記念誌 打合せ、性能評価 工場審査サポート 4件	
山梨県	6日理事会、9日溶接JIS検定、22日令和4年度山梨県溶接技術競技大会(一般・高校)表彰式、26日経営近代化委員会、29日山梨県産業技術センター運営委員会、関東安全衛生センター山梨出張試験、31日(会員・賛助会員)親睦ゴルフ [教育関係]20日ガス溶接作業主任者試験準備講習、ガス溶接技能講習(高校5校・甲府工業、都留興譲館、青洲、農林、葦崎工業)	
新潟県	7/4 第1回青年部会、7/6 第1回経営近代委員会、7/8 新潟支部 手拾いによる積算勉強会、7/14 新潟支部営業担当者会議及び工場見学、7/15~16 県央支部研修旅行(国際ウエルディングショー)、7/29 第2回技術委員会、7/7~13 工場審査 事前サポート	

(B)	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)			
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラム)	SRC造
都道府県											
東京都	6~14	4~8	2~5	60~110		○					
千葉県	12~18	3~10	4.0	60~100	○						
神奈川県	9~15	2~6	2.0	50~110		○					
茨城県	8~12	4~12	3	90~100		○					
埼玉県	3~12	2~13	1~5	30~100		○					
栃木県	5~12	4~9	2~5	90~100	○						
群馬県	5~12	2~5	1~4	60~120		○					
長野県	6~12	1~12	2~3	0~110			○				
山梨県	10~12	0.8~1.0	2~3	80~120			○				
新潟県	7~14	3~9	3~5	95~105		○					

(C)	現状と今後の状況の見通しについて
都道府県	
東京都	鋼材等の材料価格の値上げは留まることなく、運送費等の価格上昇分を含めて価格転嫁が一層厳しくなってきた。材料の納期は発注後2~3カ月が定着したかに見えたが、多少伸びる傾向にある。これらはファブの経営力を低下させる要因となっている。また、図面の遅れが目立つようになり、計画的な鉄骨製作に影響が生じているファブも見受けられる。依然として、M以下のグレード企業では二極化した状態が続いている。
千葉県	材料の高騰に歯止めが掛からないので、先行きの仕事があっても工事価格が定まらない状況だが、加工費は下げない。胴縁や1次加工等納期がかかっている。仕事量は増えたが加工費が上がらない。
神奈川県	BCPの納期は相変わらずといった感じですが他の品種に関して逼迫した様子は無くなり、価格も上げ止まった感じです。見積も多く、Mグレードを中心に6カ月以上の山積みを抱える組合員が多くなってきた。他県からの製作支援が多くなってきた感じがありますが、足元では皆さん山積みが高くなるという話をよく聞くようになりました。
茨城県	鋼材、溶剤、ボルト、運賃と全てが値上がりしているため、出来るだけ受注価格に反映していきたいと思えます。H鋼の一次加工が3週間位かかっているため、注意が必要。加工費を上げてもらわないと努力するが、安請けするとこに持ってかれる。高騰した分をなかなか転嫁できない。コロナ拡大のニュースに麻痺して作業員も感染予防から離れている。発熱した方が出現した際、その都度の判断に悩みます。
埼玉県	旺盛な物流倉庫などの物件と組合員間の物件融通もあり、多くの組合員は手持ち量は年内一杯、稼働率も100%近くとなっている。ただ、材料等の値上げが納まらないため価格転嫁が思うようにいかず、収益的には良くない方向に向かっている。
栃木県	依然として鋼材、副資材の価格高騰が続いている。県内各企業とも忙しい様子である。コロナ濃厚接触者になる人が増えてきている。 【要望事項】運送2024年問題について、調査確認をしていただきたい。
群馬県	鋼材の価格上昇については発注時に理解してもらえようになってきたが、その他の輸送費、燃料、溶材等の価格上昇が激しく、受注価格に反映しきれない。材料高で鉄骨価格が上がり建築需要が冷え込まないか不安である。
長野県	・来年4月までの仕事量は確保しているが、溶接工の確保に苦慮している。対応策ありませんか？ ・先行不透明、材料の値上げがどこまで続くか懸念されます。・鋼材単価の上昇が懸念されます。・人材不足も困っています。 ・コロナの影響で今後の経済がどのように推移していくか？ ・仕事量 年内はほぼ埋まってきました。年末に向けて駆け込み、受注枠がなくなってきている。 ・来年3月までは受注見込みありますが4月以降は不透明な状況です。・見積りは先月より大変多くなっています。
山梨県	鋼材、副資材の価格高騰は相変わらず続き、特にMグレードの手持量で2極化が続いています。予定の工期が後ろにずれる物件が多く出はじめています。県内の引合物件数は少なく、昨年同月比の半分以下となっている。
新潟県	業界を取り巻くほとんどの部分で価格が上昇しているが、受注価格に転嫁を認める客先は大手ゼネコンのごく一部に限られる。大規模工場と小規模工場とで、受注価格と手持ち工事量について、それぞれ二極化が見られる。また、急速に拡大している新型コロナウイルス感染症の影響も懸念される。

# ＜ 関東支部 ＞ 状況報告書

2022年(令和4年) 8月分

提出日 令和4年9月6日

(A)	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
都道府県		
東京都	20日 東構塾	関東支部活動・行事等
千葉県	18日(木)西部支部会	
神奈川県	3日 総務・教育技術委員会、役員会、27日 青年部会研修会	
茨城県	2日 建産連意見交換会、10日 特定行政庁講習会準備打合せ 17～20日 実習生(13期生)面接(ハノイ)、24日 東関東非破壊検査研究会役員会 26日 第3回理事会、27～28日 UTレベル1学科講習 31日 青年部会役員会(特定行政庁講習会準備打合せ)	
埼玉県	4日(木) 総務委員会、10日(水) 理事会、展示販売会打合せ会議 8月中 工場審査2社	
栃木県	8/26 運営委員会、8/30 10周年記念事業実行委員会	
群馬県	8/3 50周年記念事業開催準備会議、8/23BCP講習会(ZOOM)	
長野県	8/6・7(土・日) 構造物鉄工学科講習会 8/20・21(土・日)UT学科講習会 8/21(日) とび学科試験、性能評価工場審査 4件	
山梨県	4日 山梨県防災団体連絡会、23日 青年部会、24日 東部地区溶接協会連絡会 24日 溶接安全委員会、25日 教育技術委員会 [教育関係] ・ガス溶接技能講習 高校(5校)・1大学 ・NDI-UT学科準備講習(認定職業訓練/24,25日) [集団健康診断] 東部地区(25日)、南西地区(26日)、中北地区(29日) (成人病+じん肺+マンガン他検診計300名)	
新潟県	8/5 第3回正副理事長会議、8/19 第3回理事会 8/26 新潟支部・県央支部 納涼会 中止 8/24、25 工場審査(2工場)	

(B)	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	5～14	4～7	2～5	60～100		○				
千葉県	3～12	3～6	4～6	60～100	○					
神奈川県	8～12	2～9	1.0	50～100		○				
茨城県	6～10	4～10	3～4	90～100		○				
埼玉県	4～12	2～12	1～5	20～100		○				
栃木県	5～12	4～6	1～5	70～100		○				
群馬県	4～12	3～7	2～4	60～110		○				
長野県	6～12	4～9	1.5～6	60～120		○				
山梨県	10～12	0.5～7	2～3	60～120			○			
新潟県	7～17	3～8	3～4	95～100		○				

(C)	現状と今後の状況の見通しについて
都道府県	
東京都	鋼材等の価格上昇分及び運送費など販管費のコスト上昇分の価格転嫁が進んでおらず、これらの外的要因はファブの経営基盤を弱める一因となっている。 また、遅れ気味の材料納期、図面の遅れなどで、計画していた鉄骨製作スケジュール等にズレが生じるなど少なからず影響を受けているファブもある。 なお、M以下のグレード企業では二極化状態が今なお続いている。
千葉県	鋼材価格の高騰は一部落ち着いた話を耳にしたが未だ材料の高騰に歯止めがかからない為、先行きの工事があっても工事価格が定まらまい。自社の山積は順調。年内までの手持が埋まり忙しい。同業に応援を頼んでも各社忙しいため断られてしまう。
神奈川県	新型コロナウイルスの感染により欠員等で納期に間に合わなく、製作支援の依頼等が他県数社からありましたが、神奈川県ではそこまで切迫した状況では無い様子。需要に関しては大型案件が下支えし、小規模な物件も出ています。 安定でBCPを除く物は納期も緩んで来たのですが、ガスや作業着、皮手袋などの製品は値上げの率が高くなっております。半導体不足の影響等で大型工作機械等に使用する電子部品が欠品し、修理に1カ月以上かかる事例も聞かれた。
茨城県	鋼材費の高止まりが続き、加工費の値上げには至っていません。 一次加工の外注加工日数が1か月近くかかる。仕事量は増えてきているが、偏りがある。
埼玉県	一、二年前のコロナ禍においては、従業員のほとんどが車通勤であったためか感染者はあまりいなかった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響か、従業員の感染や家族の感染で濃厚接触者となる者が増えてきた。この場合、出勤停止や、咳や熱が出た段階でも安全を取って休ませることとしている組合員が多く、欠勤者も一人や二人ではないところは、仕事そのものが進まなくなるなど影響が出ている。
栃木県	・慢性的な人材不足が続く。・図面の遅延による工期圧縮。・鋼材単価の変動により価格を決めにくい。 ・仕事量の増加で人員や運搬車両の確保が困難。・見積案件が多く、低価格交渉せずFAB側にも受注の選択権が出てきたのではない。
群馬県	手持量が二極化している。また鋼材の価格上昇は発注時に理解してもらえませんが、副資材・輸送費・燃料などの価格上昇が受注価格に反映できない。材料高で建築需要が冷え込まないか不安である。
長野県	・来年3月まで、仕事が多い状況です。・小規模だが見積りもそこそこ出始めている。・金額、工程等、先行き不安有。 ・無茶な受注は避ける事。・人手不足 ・溶接工の確保 紹介してください。・2023年上半年迄は好調を持続できる見込み ・大型物件多くなり、その分加工期間が長くなり検対事項が増え、いろいろなストレスを感じる。・来年は仕事は激減するのでは。 ・年内製作の問い合わせが多いが、受け入れできない。・来年の物件も前期分は受注済み。 ・鋼材、H形鋼 高値安定。・板関係さらに値上げ可能性大。・少し単価あげてもらえた。
山梨県	鋼材価格は9月には更に値上げを表明しているメーカーもあり、ガス関係についても電気料金の上昇により産業ガス大手が今年2月約15%の値上げに続き、8月も更に平均10%の値上げを行い他社も追随するかの様に値上げラッシュが続いている。 物件価格の増加も見られるが、材料・副資材の値上げが分りて吸収され加工費を縮小せざるを得ない工場もある。県内物件が少ないため、特にMグレードで手持ち量の二極化が続いている。
新潟県	鋼材価格の上昇分が加工費を圧迫し収益状況は厳しい状況が続いている。首都圏物件はこの先も計画は旺盛であるが、地元物件は少ない。現在、首都圏物件をメインとする大規模工場やその協力工場の稼働率は高水準を保っているが、地元案件に頼っている小規模工場の稼働率は低く、二極化が目立つ。

## ＜北陸支部＞ 状況報告書

2022年（令和4年）7月分

(A)

提出日 令和4年8月10日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	25日(月) 建専協・会計監査 26日(火) 青年部会・第1回役員会(Web)	1日(金) 全構協青年部会北陸ブロック総会(金沢) 12日(火) 全構協第5回理事会(東京) 26日(火) 第2回北陸支部役員会(金沢) ハイブリット会議
石川県	1日(金) 第一回金沢支部会 2日(土) 鉄骨製品検査・超音波学科試験(金沢) 7日(木) 工場審査(能登地区) 14日(木) 工場審査(加賀地区) 15日(金) 工場審査(能登地区) 19日(火) 第3回青年部役員会 22日(金) 鉄骨製作管理技術者更新講習(金沢) 25日(月) 工場審査(加賀地区)	
福井県	6日 臨時三役会、認定部会周年事業実行委員会 7日 認定工場品質サポート(~29日 6工場) 14日 定例三役会、役員会 14日 組合員と賛助会員との懇話会 17日 青年部会例会 20日 技術委員会 20日 認定部会例会	

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	7~12	2~4	1~3	80~100		○				
石川県	6~12	3~5	1~2	90~100		○				
福井県	4~10	2~7	1~2	70~120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	仕事量は、先月とあまり変わらないが、Mグレード以下の工場稼働率が低下している。一方鋼材は、日本製鉄がひも付き(物件向け) H形鋼、外法H形鋼の一段の値上げをし、電炉メーカーもスクラップ相場は下落(地場ゼネコンの鋼材値下げ要求は有るが)しているものの、エネルギーや輸送費などが上昇しており、強い売り腰を維持している。鉄骨価格は上昇しているが、鋼材値上げ分を上回っておらず、加工費にしわ寄せがきている。
石川県	足元は工場稼働率が高く、加工協力をお願いできるところがなかなか見つからないとの声もあるぐらいの状況。納期の長期化により、前段取り等に時間が取られている。鋼材価格は高値で小康状態だが、再値上げの話もあり予断を許さないような状態。見積もりは普通だが、これからの計画は多くあるような感じ。設計見積もり、役所、民間の施主の予算取りで問い合わせも増えていると思われるので、組合員が足並みをそろえ、正確な情報を発信していく努力をしていきたい。
福井県	・上位グレードでは山積みが依然高いままであるが、コロナ感染の急増により従業員採配、工程計画に影響が出ている工場が目立ち今後の稼働率低下が懸念される。 ・依然として主要鋼材、副資材などの値上がりが続く中、各工場とも腐心している。 ・材料供給業者とファブとの一層綿密な情報交換が必要となっている。

# ＜北陸支部＞ 状況報告書

2022年（令和4年） 8月分

提出日 令和4年9月13日

(A)

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	5日(金) 建専協・通常総会	23日(火) 第一回全構協青年部会北陸ブロック役員会 (金沢) 25日(木) 全構協・第1回技術委員会(東京)
石川県	10日(水) 第4回青年部役員会 27日(土) 前期工場審査(加賀地区) 青年部会BBQ懇親会(能登)	
福井県	1日 県鉄工連合会事務局責任者会議 3日 性能評価工場審査(1工場) 9日 認定部会役員会、周年事業実行委員会 18日 定例三役会、役員会 22日 企業説明会(ポリオテクセンタータイアップ事業) 23日 性能評価工場審査(~26日 5工場) 26日 青年部会講師例会 30日 共同受注委員会 30日 共同受注事業に係る検討会議	

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6 ~ 15	3 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 120			○			
石川県	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 2	90 ~ 100		○				
福井県	4 ~ 10	2 ~ 6	1 ~ 2	70 ~ 120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	Hグレードは、仕事量も多く100~120%の稼働率を維持している。図面承認の遅延、人材不足などの問題に加え、2024年度から運送関する法律が厳しくなり、特に大都市圏の物件に関しては、増々負担増になる可能性があり、注意が必要である。Mグレード以下の仕事量(ゼネコンによる格差は)二極化が進んでいる。また、地場ゼネコンの安値受注が散見され、鋼材高による加工費維持が困難となっている場合がある。Hグレードの応援をするなどして、価格の維持をしていかなければならない。
石川県	Hグレードは1年先まで仕事を確保している様子。足元は全体的にMグレードにRグレードにおいても稼働率が高いと思われるが企業間にばらつきもある様子。コロナの感染が急増し従業員にも影響が出ていると思われ、製作工程にも影響が出ているケースも出てきている。コロナ禍に原油高が拍車をかけて建築資材の高騰により受注環境は厳しい状況になっているので、加工費の圧迫が懸念される場所ではあるが価格を維持していくためにも組合員同士の正確な情報交換を引き続き行っていきたい。
福井県	・HグレードとMグレードの多くは引き続き6カ月以上の山積み確保できているが、ここきて年末年始以降の山積み大きな不安があるファブが出てきた。 ・県内公共工事では、鋼材単価が反映されていない工事の不調再入札が目立っているが、未だに鋼材単価の高騰分が設計価格に反映されないためGCが商社に発注して引き受けファブを探すケースが課題になっている。 ・鋼材等高騰の現状を設計事務所や地方行政体へ粘り強く働きかけることが急務であるが、地方での活動だけでは限界があるため中央組織での要請陳情活動を引き続き実施願いたい。

# ＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 7月分

提出日 2022年(令和4年)8月2日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	22 日 (金)	理事会	2 日 (土)	青年部中部BC 総会
静岡県	27 日 (水)	役員会	5 日 (火)	全構協 三役会 出席
愛知県	4 日 (月)	愛知県:建設技術研修 打ち合わせ	12 日 (火)	全構協 理事会 出席
	11 日 (月)	青年部会		
	12 日 (火)	愛知県:建設技術研修		
	15 日 (金)	名古屋北支部会		
	19 日 (火)	H部会		
	20 日 (水)	正副理事長会・理事会		
		性能評価工場審査 7件		
三重県	11日(月)～15日(金)	超音波試験40時間の訓練時間発行講習会		
	25 日 (月)	青年部会		
	27 日 (水)	第4回理事会		
		工場サポート5社 継続中(合計11回)		

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
岐阜県	3～10	3～6	1～5	80 ～ 120		○				
静岡県	8～12	3～9	1～9	70 ～ 120			○			
愛知県	10～19	5～9	1～2	80 ～ 140		○				
三重県	12～18	3～7	1～4	95 ～ 120		○				

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染者が増えて現場の対応に追われている。</li> <li>・稼働率は若干上向き傾向だが、軒並み消耗資材の値上がりで見積もりが難しい。</li> <li>・見積物件は、相変わらず有るが値段が出しづらく契約しにくい。</li> <li>・材料納期に不安があり、受注しても間に合うかどうか心配。</li> <li>・材料単価は、7月値上げで一旦高止まりですが先高感があります。</li> <li>・材料が高い割に発注は好調で、10月あたりまで一杯の状態です。</li> </ul>
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月より再度材料等の値上げがありそうなので、加工費を削られないよう注意したい。</li> <li>・年内は100%強の稼働となり、来年3月頃より少し落ち着く見通し。大型案件については来年、再来年と話は貰っているが、来年6月以降はまだ稼働70～80%と余力がある状況。</li> <li>・鋼材価格の予想が難しい。各メーカーの価格を収集して先の見通しを立てたい。</li> <li>・ゼネコンにも資材の値上がりが大分浸透し、価格交渉の材料になっている一方、安値受注も見受けられその温度差が激しい。</li> <li>・仕事量があるなしの差が、ファブ間で目立ってきている。この先の不透明感が拭いきれない。</li> </ul>
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年先の引き合いも増えているが図面も決定しておらず、材料費の更なる値上げが予想され見積もりも難しい。</li> <li>・また既に契約済の工事でも主材以外にも全ての経費が値上がりしているため加工費をかなり圧迫している。</li> <li>・鋼材の値上げスピードと見積時点での価格の乖離が続いており、価格転嫁に苦慮している。</li> <li>・中小物件の見積依頼が少なく、大型工事(再開発物件 工期2年程度)の引き合い多い。</li> <li>・鋼材、ボルトは当然ですが副資材が何から何まで値上がりし、それが加工賃に反映されないのが現状です。</li> <li>・現在コロナ感染者数が毎日急上昇していますので今後受注に影響が出てこないか心配です。</li> <li>・材料単価は、まだ値上がると聞いているが上り幅が明確ではないので見積もりにも苦慮している。</li> </ul>
三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設価格高騰による建築計画のズレ込みが出て後ろにずれる物件が増えている。</li> <li>・仕事量もかなり多く、他県のS・Hグレードからの製作協力要請が多い現状です。</li> <li>・鋼材だけでなく全て値上げ傾向の中、物件はかなり出ているようでメーカー側も強気のように感じます。</li> <li>・受注物件数が昨年度に比べ多くなるのを期待したが、大して変わらない状況が続くそう。</li> </ul>

## ＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 8月分

提出日 2022年(令和4年)9月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
岐阜県		25 日(木) 全構協 三役会 出席 30 日(火) マル管講習会 講師打合せ
静岡県		
愛知県	2 日(火) 中央会:情報研究会 通常総会 出席 23 日(火) 青年部会 性能評価工場審査 2件	
三重県	性能評価サポート 5社 性能評価工場審査 5社	

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	5～6	2.5～5	1.5～4	80 ～ 120		○				
静岡県	6～11	5～8	1～8	80 ～ 130		○				
愛知県	12～17	4～8	4	80 ～ 140		○				
三重県	12～21	2～5	2～3	96 ～ 120		○				

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響が身近となり、業務に支障がでてきている。</li> <li>・仕事の流れが悪くだけでなく、納期を延ばされ急に穴があいてしまうことがある。</li> <li>・鋼材や副資材の値上げに伴う価格転嫁を多少なりともできているが、中には全くできていない(することができない)ところもある。</li> </ul>
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気料金、ガソリンの値上げが全てにおいてコストアップとなっている状況。残業を減らして人件費だけは下げたいと思っているが難しい。</li> <li>・地場案件の動き出しから納品がタイトで材料調達が苦しい。また来年、再来年案件の鋼材価格がつかめず元請が契約を渋るケースが出てきている。</li> <li>・半年以上先の内定物件があり、鋼材単価は現在の単価で見積もりしているが、半年先の鋼材単価の変動によっては受注先との交渉を進めなければならない。</li> <li>・鋼材価格の上昇が更に懸念され、工場加工費への影響により利益減となるのが不安。</li> <li>・物件が出ている割には安値受注が多くみられ、加工費を圧迫していると聞く。この状況は変わらないと思う。</li> </ul>
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶材については値上げが加速し、運送費も値上げしそとの情報が入ってきている。</li> <li>・小規模物件の見積もりがほとんどない状態で、当面の間、中小工事が少ないように感じます。</li> <li>・何とか秋口の仕事は受注できたが、年末の受注に思案している。慌てず状況をよく観察して、良い物件を受注できるように努力していく。</li> <li>・大型物件は動いているが中小規模物件は非常に少ない状況で2極化が深刻な状況になっている。</li> <li>・鋼材や塗料等の値上げ情報が入ってきており、見通しが立たず、不安な状況です。</li> </ul>
三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼材以外の物価も高騰して、受注単価も厳しい。来年前半の仕事物件が少ない。</li> <li>・自社案件は少ないようである。愛知県ファブの応援が目立つ。</li> <li>・10月頃の案件が多い様である。ここにきて案件が減少気味、今後に期待か。</li> <li>・材料費等の値上がりにより、加工賃での吸収は限界にきている。指値も厳しい状況である。</li> </ul>



## ＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年 7月分)

(A)

提出日 令和 4年8月5日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・7/6 三役会 ・7/7 青年部会 ・7/20 インボイスセミナー参加 (理事長、事務局) ・7/20 理事会認定工場部会合同納涼会	
京都府	・7/5 京都西支部会	
大阪府	・前期工場審査 7社、工場パトロール 3社 ・7/8 東大阪支部会 ・7/13北支部会、市内支部会	
兵庫県	・7/5 50周年記念誌準備委員会 ・7/15 四役会 ・7/15 理事役員会 ・R4年前期サポート 4社 ・R4年前期工場審査 2社	
奈良県	・7/13、15 認定サポート2社訪問 ・7/19 三役会、理事会	
和歌山県	・7/14 三役会 ・7/27 サポートの実施(1社)	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10 ~ 16	4 ~ 6	1 ~ 3	80 ~ 100		○				
京都府	8 ~ 12	3 ~ 14	1 ~ 6	70 ~ 150		○				
大阪府	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
兵庫県	9 ~ 17	3 ~ 6	1 ~ 3	70 ~ 100		○				
奈良県	~	5 ~ 8	2 ~ 3	70 ~ 100		○				
和歌山県	8 ~ 16	2 ~ 8	1 ~ 3	60 ~ 100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	工場消耗品はじめ副資材・設備価格も段階を追ってだが値上がり激しい。加工費の範疇に含まれる範囲なので再度工場加工費原価のチェックをすべきとの声が聞かれる。特に溶接材料・ガス類・塗料・物価上昇に伴う人件費は精査する必要がある。昨年並みの加工単価契約は確実に利益減少に繋がる為、客先との価格交渉時には粘り強く強調すべきと考える。
京都府	10月迄稼働は良好な見込み。その後は鋼材の高騰もあって不透明。様子見となっているのか新規物件の動きが鈍くなったようだ。年末から年明けの仕事は受注しているが鋼材関連副資材が今高騰しており中止、延期物件が多数出てきている。大型物件の金物工事が決まっているので3か月くらいは100%以上動いている。スクラップは下がっているので材料も下がると先が先行きは分からない。山積みは高いので今後も仕事は安定すると思う。
大阪府	鋼材やそれ以外の溶接ワイヤ、高力ボルト、副資材関係の値上げが年末にかけても続くようだ。鉄骨需要は増加傾向との見通しであるが、満遍なく満たされるかは不明。見積りの値段設定の精度基準が、相変わらず設けにくい。グレードによるが、来年の計画物件の見積があるが、年内施工物件は数少ない。鋼材費上昇に伴い、売上額は増えているが、生産量はかなり減っている。また50t前後の物件も少なく見通しは良くない。
兵庫県	スーパーGCや大手GCは受注量が安定しているが、中堅GCや地場コンは受注量が不足しているため未だに価格のダンピング競争が続いている。鋼材価格は、依然としてメーカーの強硬な姿勢を継続しているので先行手配が見えない状況が続いているので四半期単価での価格揭示となる。
奈良県	・中小物件が多く出ており、年内は手一杯となり、外注先を探す苦労も出ている状況です。 ・直近に関して、仕事量が確保出来てますが、まだまだ先の不安が有るように見受けられます。 ・急な、加工の応援が増えて来ています。・新電力の突然の打ち切りにあい、電力会社を探している。
和歌山県	鋼材価格は、くず鉄価格が下がっているのに鋼材価格は、高止まりの状態が続いている。又、ガス・溶材価格の値上げも発表されています。このような状況下で、大型物件は増加しているようだが、地元 中小物件は、少なく思う。秋口以降の動きに期待します。受注価格についても、これらの値上がり分をいかに転嫁していけるかが、鍵となりそうです。

**< 全構協近畿支部 > 状況報告書**

2022年(令和4年8月分)

提出日 令和4年9月5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・8/24 インボイス制度説明会(zoom出席併用)開催	
京都府	・23日 理事会 ・23日 50周年事業準備委員会	
大阪府	・8/4 南支部会 ・8/17 第2回定例理事会	
兵庫県	・R4年前期 サポート 1社 ・R4年前期 工場審査 5社	
奈良県	・8/2 工場認定1社 ・8/5 工場認定1社 ・8/6 親子ものづくり体験教室 ・8/23 三役会 ・8/27 南和支部会	
和歌山県	・8/1 近代化委員会 ・8/18 工場審査 1社	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%) 稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10 ~ 14	4 ~ 10	1 ~ 5	70 ~ 100		○				
京都府	7 ~ 12	3 ~ 8	1 ~ 4	30 ~ 120			○			
大阪府	6 ~ 12	2 ~ 6	0.5 ~ 3	50 ~ 100		○				
兵庫県	10 ~ 18	4 ~ 8	2 ~ 4	70 ~ 100		○				
奈良県	~	3 ~ 6	2 ~ 3	80 ~ 100		○				
和歌山県	7 ~ 15	2 ~ 7	1 ~ 3	50 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	先月記載と同様、主要鋼材に留まらず付属購入品(露出柱脚や貫通補強品)や、工場消耗品の全てに於いて値上がりの状態。10月には更に価格改定があり、年度内に再度値上げアリとの情報。その反面、加工単価の指値は厳しくなっており利益の圧迫は避けきれない。今一度先方との交渉は慎重に行うべきと考える。また契約単価の内、鋼材費や購入品の占める割合が7割程度となっており、手形受け取り頻度の高い事業所は、現金比率の見直し・期日の見直しを早急に先方と交渉すべきと考える。
京都府	鋼材単価、鉄板、ロパイプ類の値上がり止まらない。来年の鋼材費の動きが不透明で見積価格の決定に不安がある。工期の遅れで年内は予定があるが年明けの見通しがなく不安です。スクラップ価格が下落しているのに電炉メーカーは値下げを断行しない。工事の依頼があってもグレードがない事で付帯の細かい工事をしている。グレード取得が急務と考えている。2か月くらいは階段の仕事が多く稼働率100%です。
大阪府	鋼板関係が希望の納期通りに入りにくく、加工のタイミングに合いません。更に値上げが今後も予想されます。工場経費も上がる一方で、受注量の格差はあるものの、鉄骨需要は増加傾向との見通しであり、より一層人手不足が深刻になってくる。加えて材料等のコストアップを見積りに反映できないので、利益が出ない状況でもある。大阪では、理事会において、全構協に対して「特定技能外国人受け入れに向けた取り組み」について、その内容や進捗状況について問うこととし、鉄骨製造業の受入業種指定の早期取得を促すよう、回答を求めるとした。
兵庫県	都市部を中心に大型案件が見込まれていますが、地場案件中心のファブの稼働率は相対的に低いですが仲間内で山積みを確認されている状況、鋼材価格は一部の商品を除き少し安定してきましたが高炉メーカーは更なる値上げを検討中で全体的に大型物件のロール供給でタイトな状況が続いている。今後は需要に応じた価格の値上げ交渉を粘り強く客先へ伝えていく事が大事である。
奈良県	・年末～年明けの仕事量が、少ないように感じます。また、大型物件が多く、小中規模物件が少ない。 ・鋼材、溶材、塗料などの単価は上がるものの、物件の単価に乗せられない気がします。 (1つ目の意見に付随し)・見積りに関しても、やや減ってきているように思えます。
和歌山県	鋼材の高騰や、副資材・消耗品の値上げなどの物価上昇の影響か、新規物件の動きが鈍くなってきているように思われる。特に地元中小物件が少なくなってきました。見積も少なく、先行き不透明です。このような状況下で、加工費に物価上昇分を転嫁していくのも難しくなっています。

# ＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 7月分

提出日 2022年(令和4年) 8月17日

(A)

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	5日(火) 13・14日 16日(土) 26日(火)	工場審査サポート 1社 「国際ウエルディングショー」視察研修旅行 東部支部例会 工場審査 1社 鉄骨工業における補助金講習会(青年部会)	12日(火) 15日(火) 28日(木)	全構協:第5理事会(東京) 全構協:特別委員会(東京) 第3回中国支部会(岡山)
島根県	1日(金)	工場審査 1社(益田市)		
岡山県	4,7日 12,13日	工場審査サポート 2社 工場審査 2社		
広島県	9日(土) 20日(水) 4,8,11,12日 14,15,21日	CO2半自動溶接 基礎講習会 鉄骨製作管理 更新講習会 高炉メーカーとの対談動画 撮影リハーサル 工場審査サポート 4件 工場審査 3件		
山口県	4日(月) 7日(木) 11日(月) 13日(火) 25日(月) 26日(火) 29日(金)	工場審査サポート 1社 青年部役員会 工場審査サポート 2社 工場審査 1社 工場審査サポート 1社 工場審査サポート 1社 工場審査サポート 1社		

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4 ~ 12	3 ~ 6	2 ~ 3	80 ~ 110		○				
島根県	6 ~ 7	2 ~ 7	1 ~ 2	80 ~ 100		○				
岡山県	12 ~ 13	3 ~ 8	1.5 ~ 12	60 ~ 100			○			
広島県	7 ~ 12	3 ~ 7	1 ~ 6	80 ~ 120			○			
山口県	3 ~ 7	1 ~ 7	2 ~ 3	60 ~ 110		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	受注状況は夏から秋口まで確定受注工事が埋まっており、稼働率80~110%と高い状況が続いている。鋼材価格・2次部材・運送費・人件費の高騰が続いて、今後の先行き不透明感が増している状況下で、地方における大型物件情報は無く中小物件の動きも計画変更・延期等であり依然鈍い動向が続く見通しのようである。この様な時こそ組合員同士の相互扶助の基、数多くのFAB間で加工協力しあえる組織造りを目指すことが、大切な要因になる。
島根県	Hグレードは、来年度に向けての見積工事案件(県外)は多いものの、鋼材価格の高騰から加工費の確保が難しい状況となっている。Mグレードは、3~4ヶ月先までの案件は確保出来てはいるが、少し物足りない状況である。見積に関しては増えつつある。Rグレード以下は下位グレードについては、今しばらくの仕事量は確保出来ているが、先行きに関しては不透明な状況である。鋼材の入手難並びに価格上昇も続いており、受注活動が難しい状況に変わり無く、採算面に於いても非常に厳しい状況が続く見通しである。
岡山県	都心の仕事を中心に行うHグレードは引き続き順調にバックオーダーを維持しており、数年間は安泰な状況が続くそうである。しかしながら地方を主戦場とするMグレード以下にとっては深刻な夏枯れ状況となっている。特にここ数年苦戦を強いられた会社が受注受注を始めており、一部で原価割れの状況が見られ出した。鋼材価格の上昇と相まって非常に危険な状況になりつつあると感じており、早急に何らかの対策が必要である。
広島県	稼働率は、100%以上の回答企業が約80%、80%未満の低稼働の報告が皆無で、全体として繁忙状態。手持ち工事では、H、Mグレードを中心に60%が5か月以上の仕事を抱える一方、Rグレードを中心に4か月以下の割合が40%で、格差は依然大きい。見積りについては、「普通」が「少ない」を上回り、久しぶりに「多い」の回答が10%出現しており、全体として改善傾向。鋼材価格をはじめとする製造原価が上昇を続け、物件が計画通り進まないとの声はあるが、これまでのような悲観的観測は、楽観的見通しに変わるとともに、複数のファブで年末まで多忙との報告がされている。持続する材料等の原価上昇が、工事の延期や手控えに繋がらぬよう、発注者に現状の正しい理解を求める行動が必要な局面を迎えている。
山口県	Hグレードでは、図面変更や保留が多く手持ち状態が続く工場稼働率が伸びない状況となっている。見積件数は普通だが、年明け建方の物件や材料確保が難しい引合物件も出てきている。来年夏あたりから地域によっては物件がかなり少なくなるような情報も出てきているため不安要素が多い。M・Rグレードでは、上位グレードの山積が高いため県内外問わず中型物件がMグレードに流れているような様子で、逆に小規模鉄骨の見積案件が激減している。地域によって差があり「全体的に忙しい。見積も多く対応が困難なこともある。春先に比べて稼働率が上がり今後も年末に向けて公共・民間ともに増加傾向にある。」との声がある一方で「直近は埋まっているが先行き不安。自社物件がなく同業他社の手伝いで仕事を確保しており、今後も厳しい受注環境が続くそう。現場の改修工事など小規模が多い。鋼材等の高値で保留になっている。」と話すファブもいる。鋼材・ボルト等の入手については以前に比べ楽になったが、価格上昇により収益の確保が困難な状況で、契約単価についても元請け業者間の競争もあり一層厳しくなりつつある。

# ＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 8月分

提出日 2022年(令和4年) 9月9日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中国支部活動・行事等
鳥取県	3日(水) 理事役員会 「事業継続計画(BCP)ひな型」説明会	8日(月) 全構協:特別委員会(人材育成) 全構協:特別委員会(50周年) (東京)
島根県	9日(火) 支部例会 3日(水) 役員会(松江市)	
岡山県	2日(火) 理事会・BCP講習会(岡山市) 4,5日 工場審査 2社 18日(木) 工場審査 1社	25日(木) 全構協:技術委員会(東京)
広島県	2日(火) 高炉メーカーとの対談動画 撮影 9日(火) 組合三役会・理事会 23,30日 建築学会中国支部 鉄骨製作部会 実験見学会 2,3,4日 工場審査 3件	
山口県	2日(火) 工場審査1社 3日(水) 工場審査サポート1社 4日(木) 工場審査1社 24日(水) 工場審査1社 30日(火) 第3回理事会	

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4 ~ 12	2 ~ 5	2 ~ 3	80 ~ 110		○				
島根県	7 ~ 8	3 ~ 6	1 ~ 2	70 ~ 100			○			
岡山県	12 ~ 21	3 ~ 7	2 ~ 10	35 ~ 100			○			
広島県	11 ~ 12	3 ~ 10	2 ~ 4	50 ~ 100			○			
山口県	4 ~ 8	2 ~ 4	1 ~ 3	70 ~ 110		○				

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	Hグレード3社では年内稼働率2時間残業が続いている。物件的には県内は少なく、県外物件の大型倉庫・工場などを手掛けている。Mグレード各社では、手持ち工事の格差はあるものの年内の稼働率は高い状況で推移している。鋼材価格は高止まりで少し落ち着いたが、HTB・ワイヤー・ガス等の値上げが続いている。しかしゼネコンの受注単価は見合うほど上がっていないのでVE案を考えながら、価格交渉が必要な状況になってきているようだ。
島根県	Hグレードは、工事量はあるものの、大型物件になるほど工事単価が低くなるため、鋼材価格の高騰から加工費を圧迫する厳しい状況となっている。Mグレードは、3~4ヶ月先までの案件は確保出来てはいるが、フル稼働には少し物足りない状況である。Rグレード以下の下位グレードについては、今しばらくの仕量量は確保出来ているが、先行きに関しては不透明で様子見といった状況である。鋼材の入手難並びに価格上昇も続いており、受注活動が難しい状況に変わりはない。採算面に於いても非常に厳しい状況が続く見通しである。
岡山県	年度を跨いで製作を行う都心部向けの大型案件は相変わらず好調であり、県内Hグレードは順調である。しかしながら県内の中小型案件を対象とするMグレード以下については厳しい状態である。例年夏枯れの時期ではあるが、今年は状況が深刻であり、見積量を勘案するとこれからの繁忙期についても期待できない状態である。残念ながら一部で価格競争も発生しており今年は厳しい冬を覚悟せねばならないと感じる。
広島県	稼働率は、100%以上の回答企業が約70%、80%未満の低稼働の報告は1社のみで、引続き繁忙状態。手持ち工事では、Hグレードを中心に30%が6か月以上の仕事を抱える一方、Rグレードを中心に4か月以下の割合が70%で、格差は依然大きい。見積りに関しては、「普通」と「少ない」がほぼ同数で、「多い」の回答が10%出現しており、全体として上向き傾向。繁忙期の到来に伴い、図面等の決定の遅れで苦しみ声が多く聞かれるようになった。特に、材料等の製造原価が上がり続けている。今、施工者等の決定の遅れが、製作工程のタイト化のみならず、材料等調達コストの更なる上昇を引き起こしており、何らかの対処方法が必要と考える。
山口県	Hグレードでは図面決定の状況が思わしくないが、他社の応援等を含めて稼働率を確保している様子。見積りも変動なく通常の物件数となっている。M・Rグレードでは民間の見積物件が増加しているが、どの程度実施されるか疑問が残る。一部地域では工場系新築の見積が増えている。見積りに鋼材価格を転嫁しようとする多額になるため苦慮しており、受注金額も低く利益はあまり見込めない。秋~年末にかけて忙しくなりそうと話すファブもいるが「現状は小物や現場が多い」や「足元は薄い状態」との声が多い。材料については依然、価格状況、入荷状況の問い合わせが多くなっている。スクラップの値段が下がってきているため鋼材価格も落ち着いてほしいと思う。

## ＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年)7月分

提出日 令和4年8月26日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	19日(火)第4回情報交換会 23日(土)ゴルフコンペ 23日(土)24日(日)鉄工技能検定 28日(木)AW検定練習	
香川県	7日(木)工場審査(2社) 8日(金)工場審査(1社) 13日(水)フィットテスト講習会打合せ	
愛媛県	28日(木)理事会	
高知県	28日(木)講習会打ち合わせ(JSCA高知、高知県構造研究会)	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 6	2 ~ 3	1 ~ 4	70 ~ 100			○			
香川県	3 ~ 7	2 ~ 5	~	80 ~ 100			○			
愛媛県	5 ~ 17	5 ~ 7	2 ~ 5	90 ~ 110		○				
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	仕事は増えてきたが、工期が不確実な物件が多く山積みに注意が必要。材料の値上がりに伴い、県内中小物件は相変わらず少ない状況が続いている。
香川県	県内物件の見積もりは少ないが、増えているFABもあり格差がでているものの全般的に稼働率が高い。しかし、見積りしても受注につながらないケースも多く、また現場着工の遅延も出ており長期計画を立てるのが非常に難しい。尚、材料高騰など課題は多い。
愛媛県	県内今月の工場稼働率はほぼ100%であり、更には残業による操業も続いており、ここ数年間の報告ではコロナ禍前、更には高力ボルト不足の2019年以前の水準での工場稼働率となっている。そして、懸案の鋼材費UP分の受注単価への上乗せだが、中型以下の地場物件では鋼材値上がり分について客先の理解も進み、上乗せできている物件も出始めている。
高知県	仕事量はバラツキはあるが全体的に上がってきており、融通により全社共に稼働率も高くなっている。材料等の価格は高値すいであり注意が必要。



# ＜九州支部＞ 状況報告書

2022年度(令和4年度) 7月分

提出日 令和 4年 8月 2日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・7/5 技術委員会、経営対策委員会 ・7/22～24 青年部研修会(北海道) ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大により中止	・7/11 マスクフィットテスト講習会についてのWeb説明会
佐賀県	7/2 参議院個人演説会出席 7/5 工場審査 R1社 7/13～15 国際ウエルディングショー視察 7/21 第三回定例理事会	・7/25 第3回支部事務局Web会議
長崎県	7/6 工場サポート、7/8 工場審査、7/13 鉄骨研究会専門委員会出席、 7/19 建産連総会出席、7/21 検査・技術委員会講習会WG会議、 7/27 第7回理事会・7月例会・特殊柱脚についての勉強会	
熊本県	7/19 理事会・定例会・全構協共済制度の説明会・インボイス制度説明会 7/21, 23, 28 工場審査	
大分県	7/8 第2回青年部役員会 7/15, 7/22工場審査直前打合せ 7/20, 7/28工場 審査 7/27 三役会、理事会、フィットテスト概略説明会、認定部会(対面・WEB併 用)	
宮崎県	7/8 鉄工技能士実技講習会開催 7/15 工場パトロール(2社)・第2回理事会開催 7/22 自民党県連ヒアリング(要望活動)会参加 7/27・29鉄工技能士実技講習会開催 7/30青年部会ゴルフコンペ・第2回幹事会(台風5号の影響により延期)	
鹿児島県	7/4性能評価支援パトロール 7/8性能評価支援パトロール・H部会パトロール 7/12青年部会役員会(Web)	
沖縄県	・7/6:定例理事会、14日:営業部会、13～15日:2022国際ウエルディングショー 視察研修、20～21日:性能評価工場支援パトロール	

(B)

都道府県	①手持工事量(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	4 ~ 12	3 ~ 5	1 ~ 2	80~100			○			
佐賀県	6	3 ~ 6	0.5 ~ 4	80~100			○			
長崎県	8 ~ 12	3 ~ 6	—	70~100			○			
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	96.7			○			
大分県	8 ~ 14	3 ~ 7	—	90~100		○				
宮崎県	10 ~ 12	1 ~ 3	0.3 ~ 3	30~100			○			
鹿児島県	7~12	1~10	0.5~2	60~110			○			
沖縄県	1 ~ 3	1 ~ 3	1 ~ 2	80~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・コロナの感染状況が全国的に拡大し、今後の組合事業への影響が懸念される。
佐賀県	・鋼材高騰、物件が少ない中、H形鋼は頭打ちだが、コラム材はまた値上りする模様。厳しい状況が予想される。 ・鋼材、副資材の高騰が影響し、中小物件に工事の延期や中止が見受けられる。
長崎県	・見積り件数若干停滞している。鋼材価格は高止まり状態です。 ・新たな見積りや引合物件は少し出てきた。但し受注は低価格に移行している。 ・Hグレードは、多忙の状況です。
熊本県	材料が高くなってきたにもかかわらず、価格転嫁がなかなか出来ない。材料の価格が安定しないので、見積金額が決定しづら い。 商社の動きが顕著になってきた。見積物件が減ってきた。
大分県	◎大型物件の引合いが増えてきた。◎小規模物件を手掛ける企業は、仕事量が減少している。原材料価格の値上げ分が、受注 金額に転嫁されていない。◎見積りが少ないので今年末あたりの製作物件が決りそうにない。◎鋼材価格のゆくえが心配
宮崎県	・長期化する鋼材価格の高騰やウクライナ危機による資源高の影響により、設備投資が進まずMグレード以下は 厳しい環境にある。 ・中小物件の減少に伴い、低価格での受注や商社・元請による指値が厳しくなってきた。
鹿児島県	材料の高騰が止まらないため見積りも困難な状況。材料によっては入手しづらい物もある。チェックバックの遅れが多発しており、 工程のズレが出て来たりとなかなかうまく進まない。
沖縄県	・引合い物件は先月と変わらず少ない。鋼材価格高騰により計画物件(S造)がPC造に変更になるなど先行き不透明。

# ＜九州支部＞ 状況報告書

2022年度(令和4年度) 8月分

提出日 令和 4年 9月 2日

(A)

①全構協進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・8/8 令和4年度 第2回福岡県建築鉄骨協議会 ・8/10 定例理事会(対面形式からWEB開催に変更) 全体会議は中止	・8/24 第3回支部理事会(対面・WEB併用) ・8/29 第4回支部事務局WEB会議
佐賀県	8/19 中小企業中央会青年部役員会 8/25 三役員会 8/29 情報セキュリティ対策セミナー	・8/30 九州支部主催 鉄骨製作管理技術者 講習会講師打合せ(福岡市内)
長崎県	8/2 50周年記念事業委員会、8/4 長崎県建築鉄骨研究会作業部会打合せ出席、8/5 総務・経営対策委員会打合せ、8/17 総務・経営対策委員会、8/23 検査・技術委員会講習会WG打合せ、性能評価WG会議、8/27 溶接技術講習	
熊本県	8/4 青年部会幹事会(WEB) 8/10 鉄骨問題協議会 8/24 理事会	
大分県	8/22共同受注委員会 8/26三役会、理事会、認定部会(対面・WEB併用)	
宮崎県	8/1認定サポート(2社) 8/4・9認定審査立会い業務 8/5・9・10・19鉄工技能士 実技講習会開催 8/5青年部会幹事会開催	
鹿児島県	8/3、8/5性能評価工場審査 8/23青年部会役員会(Web) 8/26理事会	
沖縄県	・8/3:定例理事会、・フィットテスト実施者養成研修説明会、5日:性能評価審査 工場支援、18日:性能評価工場審査(H)、22日:建産連役員会、	

(B)

都道府県	①手持工事量(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
福岡県	4 ~ 12	3 ~ 5	1 ~ 2	80~100			○			
佐賀県	6	3 ~ 6	1 ~ 5	80~100		○				
長崎県	8 ~ 12	3 ~ 7	-	60~100			○			
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	92.8			○			
大分県	7 ~ 14	3 ~ 7	-	90~100		○				
宮崎県	10 ~ 12	1 ~ 4	0.3 ~ 3	30~100			○			
鹿児島県	6~11	1~6	0.5~3	60~110			○			
沖縄県	1 ~ 2	1 ~ 2	1 ~ 2	80~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・各社仕事の山積みバラつきがあり、中型物件においても工事の中止等が出た事例が数件ある。
佐賀県	・人材不足に対する取組み、対策が課題(募集を掛けて来ない) ・材料、副資材の値上りにより利益確保が厳しい状況となっている。
長崎県	・見積り件数若干停滞している。鋼材価格は高止まり状態ですが価格交渉も可能になってきた。 ・新たな見積りや引合物件は出てきた。但し受注は低価格に移行している。 ・受注の少ない企業の破格受注が出始めている。
熊本県	材料が高くなってきてもかかわらず、価格転嫁がなかなか出来ない。 商社の動きが顕著になってきた。 見積り物件が減ってきた。
大分県	◎大型物件が増えている。何もかも値上げして単価に影響がある。◎小物件の見積りが増えてきた。鋼材価格の上昇がストップしそう。◎見積りが少ないので目先の物件が見えない。鋼材は高止まり傾向、その他の資材の価格がこれからまた上昇すると考えている。
宮崎県	・Hグレードは1年以上仕事を確保しており、これに伴いMグレードも仕事量が増えてきた。一方、Rグレードについては、中小物件が少なく未だ先行きは不透明。組合では山積みの標準化に取り組んでいる。
鹿児島県	見積りが決まり出しては来ているが、材料の高騰が続くためなかなか厳しい状況。相変わらず図面の決定が遅く、工期が重なって猛暑との戦いです。
沖縄県	・Mグレード以下は仕事量が少なく厳しい。引合い物件は先月報告と変わらず少ない。